中間市地域公共交通網形成計画推進事業実施業務委託

報告書

平成29年3月

株式会社 ケー・シー・エス 九州支社

［ 目　　　　次 ］

1． 業務概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１-１ 業務の目的 ……………………………………………………………………1
１-２ 業務対象地域 …………………………………………………………………1
１-３ 業務の基本方針 ………………………………………………………………2
2． 業務内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
２-１ 公共交通サービスに関する情報提供（公共交通マップの作成） ……………3
２-２ 南校区アンケート調査・モニタリング ………………………………………6
２-３ 中間市地域公共交通まちづくりの目標に対する評価指標 …………………47
２-４ 中間市地域公共交通会議の運営支援 …………………………………………48

1．業務概要

1-1 業務の目的

本市は、体系的な交通ネットワークの整備とともに、利便性の向上、交通環境の整備により周辺地域との交流及び都市内の円滑な移動を支えるネットワークの構築を基本方針として、平成28年3月に「中間市地域公共交通網形成計画」を策定した。

本業務では、中間市地域公共交通網形成計画を踏まえ、関係機関と連携しながら、中間市地域公共交通網形成計画に掲げる「公共交通不便地の解消」（中間市東部の高低差による不便地をサポートする移動手段の検討）、および「中間市の交通まちづくりに対する市民の意識向上」（公共交通マップの配布）に係る事業を実施することを目的とする。

1-2 業務対象地域

本業務は中間市全域を対象とする。

図　業務対象地域

1-3 業務の基本方針

業務の目的等を踏まえ、業務遂行における基本方針を以下に示す。

方針１　見やすい分かりやすい運行マップを作成

中間市地域公共交通網形成計画の目標値の設定において、高齢者のお出かけ回数の増加が掲げられているように、公共交通マップのターゲットを高齢者として、高齢者が見て、見やすい分かりやすいマップを作成することで、市民全体が見ても分かりやすいマップを作成します。

方針２　公共交通マップを通じた公共交通の利用促進につながる情報提供

中間市では、平成 27 年 10 月から南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の運行を開始し、さらに平成 28 年 10 月からは底井野校区コミュニティバス「なかよし号」の運行が始まり、充実した公共交通ネットワークが構築されつつあります。一方で、南校区コミュニティバスの利用実態をみると、1 便あたりの利用者数が 1 人以下の路線もあり、公共交通に対する意識醸成を図る必要があると考えております。そのため、公共交通マップの作成・配布を通じて、公共交通の情報提供だけでなく、市民意識の向上を図り、利用促進につなげていくことが必要となります。

方針３　南校区コミュニティバスの利用促進に向けた課題を整理

南校区モニタリングでは、中間市地域公共交通網形成計画において掲げた目標値の達成状況を検証するとともに、住民へのアンケート調査を通じて、利用していない住民のニーズや利用者の満足度等の把握、課題等の整理を行うことで、今後の利用促進につながる基礎資料として取りまとめます。

2. 業務内容

2-1 公共交通サービスに関する情報提供（公共交通マップの作成）

市民の公共交通への意識向上及び利用促進に向けて、鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシーに関する情報を整理し、市内の公共交通が網羅されたマップ（A1 サイズの４回折、仕上がりA5 サイズ）を作成した。

作成した公共交通マップについては、次頁に示す。

主な施設への行き方

◎市役所 ▣公共施設

中間市役所
なかよし
最寄りバス停 中間市役所

市民図書館 61 67
最寄りバス停 中間ハーモニーホール

なかまハーモニーホール 61 67
最寄りバス停 中間ハーモニーホール

中央公民館 61 67
最寄りバス停 中間ハーモニーホール

✚病　院

中間市立病院 61 67 なかよし フレンドリー
最寄りバス停 中間市立病院前

新中間病院 61 67 フレンドリー
最寄りバス停 通谷団地口

商業施設

イオンなかま店 61 67 なかよし フレンドリー 筑電
最寄りバス停 通谷電停 最寄り駅 通谷駅

にしてつストア中間店 61 67 74 なかよし 筑電
最寄りバス停 筑鉄中間・にしてつストア
最寄り駅 筑豊中間駅

ハローデイ中尾店 61 67 74
最寄りバス停 南小田ヶ浦

フードウェイ中間店 67
最寄りバス停 中鶴四丁目

マックスバリュエクスプレス中間店 61 67 フレンドリー
最寄りバス停 通谷団地口

目的地の最寄りのバス停や駅をチェックするぬん

〒郵便局

中間郵便局 67
最寄りバス停 仲町一丁目

中間土手の内郵便局 筑電
最寄り駅 希望が丘高校前駅

中間通谷郵便局 フレンドリー 筑電
最寄りバス停 錦山商店街前 最寄り駅 通谷駅

中間中鶴郵便局 67 JR
最寄りバス停 昭和町 最寄り駅 中間駅

中間徳若郵便局 筑電
最寄り駅 東中間駅

底井野郵便局 なかよし
最寄りバス停 底井野郵便局

¥銀行・信用金庫

福岡銀行 中間支店 61 67 なかよし フレンドリー 筑電
最寄りバス停 通谷電停 最寄り駅 通谷駅

西日本シティ銀行 中間支店 61 67 なかよし フレンドリー 筑電
最寄りバス停 通谷電停 最寄り駅 通谷駅

西日本シティ銀行 中間市役所出張所 なかよし
最寄りバス停 中間市役所

福岡ひびき信用金庫 中間支店 61 67 なかよし フレンドリー 筑電
最寄りバス停 通谷電停 最寄り駅 通谷駅

遠賀信用金庫 中間支店 61 67 74
最寄りバス停 犬王

JA 北九 中間支店 67
最寄りバス停 新手

文学校（高等学校）

中間高等学校 61 67
最寄りバス停 中間高校下

希望が丘高等学校 筑電
最寄り駅 希望が丘高校前駅

北九州高等学園 61 67 74
最寄りバス停 犬辻

中間市の公共交通

運行に関することは下記までお問い合わせください。

鉄　道

- JR（中間サポートセンター） TEL.093-245-8500
- 筑豊電鉄（電車営業所） TEL.093-619-3077

路線バス

- 西鉄バス（西鉄お客さまセンター） TEL.0570-00-1010 TEL.092-303-3333
- 北九州市営バス（向田営業所） TEL.093-691-0131

乗合タクシー（コミュニティバス）

- フレンドリー号
  - 太賀・朝霧系統【月曜日・水曜日運行】
  - ひかり第一交通株式会社
  - TEL.093-246-6888
  - 【10月～12月、4月～6月に運行】
  - 産業タクシー株式会社
  - TEL.093-245-2150
  - 【1月～3月、7月～9月に運行】
  - 通谷・桜台系統【火曜日・金曜日運行】
  - 有限会社ことぶきタクシー
  - TEL.093-245-1590
  - 【1月～12月に運行】
- なかよし号 完全予約制
  - 垣生・下大隈系統【月曜日・水曜日運行】
  - 有限会社ことぶきタクシー
  - 予約専用電話番号
  - TEL.093-244-2233
  - FAX.093-244-0220
  - 砂山・底井野系統【火曜日・金曜日運行】
  - ひかり第一交通株式会社
  - 予約専用電話番号
  - TEL.093-285-3555
  - FAX.093-531-8318

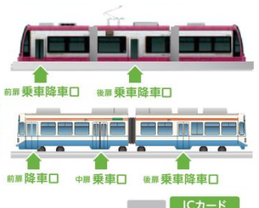
タクシー

- 産業タクシー（株） TEL.093-931-2525
- (有)ことぶきタクシー TEL.093-244-2233
- ひかり第一交通（株） TEL.093-246-1777
- (有)ホームタクシー TEL.093-244-0303

路線バス・筑豊電鉄の乗り方

路線バス
行き先を確認し、中扉から乗車してください。
※一部前扉のみの車両は前扉からご乗車ください。

筑豊電鉄
ホーム足下にある「乗車位置」でお待ちください。
※降車は乗務員のいる扉からお願いします。



1 乗車の際は整理券をお取りください。
ICカードを使用する場合、乗車口の読み取り部にカードをタッチしてください。
※整理券を取る必要はありません。

2 降りるバス停の案内があったら、降車ボタンを押してください。
次に停車するバス停名と運賃は、車内前方の運賃表に表示されます。
※表示されている金額は大人運賃です。
小児運賃は半額です。(5円単位は切り上げ)

※降車ボタンはバスのみです。
※筑豊電鉄では番号の横に駅名が表示されます。

3 降車時に運賃をお支払いください。
現金・回数券・乗車券を使用する場合は、整理券とちょうどの運賃または回数券・乗車券を運賃箱へお入れください。
ICカードを使用する場合は降車口の読み取り部にカードをタッチしてください。
※筑豊電鉄は乗務員へお支払いください。

50円、100円、500円、千円札の両替ができます。

運賃は後払いです。

乗合タクシー（コミュニティバス）の乗り方

フレンドリー号

太賀・朝霧系統
【月曜日・水曜日の運行】
通谷・桜台系統
【火曜日・金曜日の運行】

1. マップで系統・時刻を確認します。
2. 最寄りの停留所へ行き、乗合タクシーの到着を待ちます。
3. 乗合タクシー到着後、助手席か後部座席に乗車し、運転手さんに降りる予定の停留所を伝えます。
   ※お降りの方が済んでから乗りましょう。
4. 乗ったとき、または降りるときに運賃をお支払いください。

なかよし号 完全予約制

垣生・下大隈系統
【月曜日・水曜日の運行】
砂山・底井野系統
【火曜日・金曜日の運行】

1. マップで系統・時刻を確認して、運行の2日前から各便の出発時間の1時間前までに予約します。
2. 予約した時間までに停留所へ行き、乗合タクシーの到着を待ちます。
3. 乗合タクシー到着後、助手席か後部座席に乗車します。
   ※予約した時間より少し早めに停留所で待ちましょう。
   ※お降りの方が済んでから乗りましょう。
4. 乗ったとき、または降りるときに運賃をお支払いください。

お忘れ物のないよう、足下に気をつけてお降りください。
運賃のお支払いは車が完全に停まっているときにお願いします。
※運行コースが曜日で異なりますので、ご注意ください。※くわしくはホームページでご確認ください。

中間市地域公共交通会議
事務局：中間市住宅都市交通対策課 TEL.093-246-6155

図　中間市公共交通マップ（1/2）

中間市の公共交通

おしえて！なかっぱ

おまかせぬん！

クルマは便利なのに、なぜ公共交通を使った方がいいんだろう？

クルマばかりの生活をする人が増えると、交通渋滞やCO_2排出量の増加が懸念されます。
また、公共交通の利用者が減ると、公共交通を維持できなくなり、路線が廃止になったり、減便のおそれがあります。そうなってしまうとクルマに乗れない人や、子どもたちの通学で困ってしまいます。。

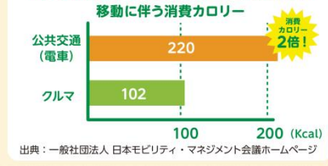
このままの状況が続くと公共交通がなくなってしまうぬん

公共交通を使うメリットってあるのかな？

クルマの代わりに公共交通を使うと、自然に体を動かす量が増え、運動不足の解消につながります。

1年間続けると約6kgの体脂肪を落とす効果に相当するぬん！

1時間のクルマ利用を電車利用に代えたときの移動に伴う消費カロリー



出典：一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議ホームページ

路線バスを利用したいけど、家の近所に通ってないのよねぇ・・・。どうすればいいの？

実は市の取り組みで路線バスの走っていないエリアや不便な地域には乗合タクシーの「フレンドリー号」と「なかよし号」が導入されています。この乗合タクシーを利用すれば、路線バス・鉄道に乗り継ぎ、目的地へラクラク到着できます。

ダイヤも調整されているから乗り継ぎがスムーズだぬん

わしはクルマがないと不便だから、ずっとクルマに乗り続けようとおもっているのじゃが・・・。

安全な運転を心がけていても、年齢に伴い運転技能は低下します。
クルマの利用には、多くの危険性がひそんでいることも知っておいてください。

安全で安心なまちは皆さん1人ひとりの協力で実現するぬん

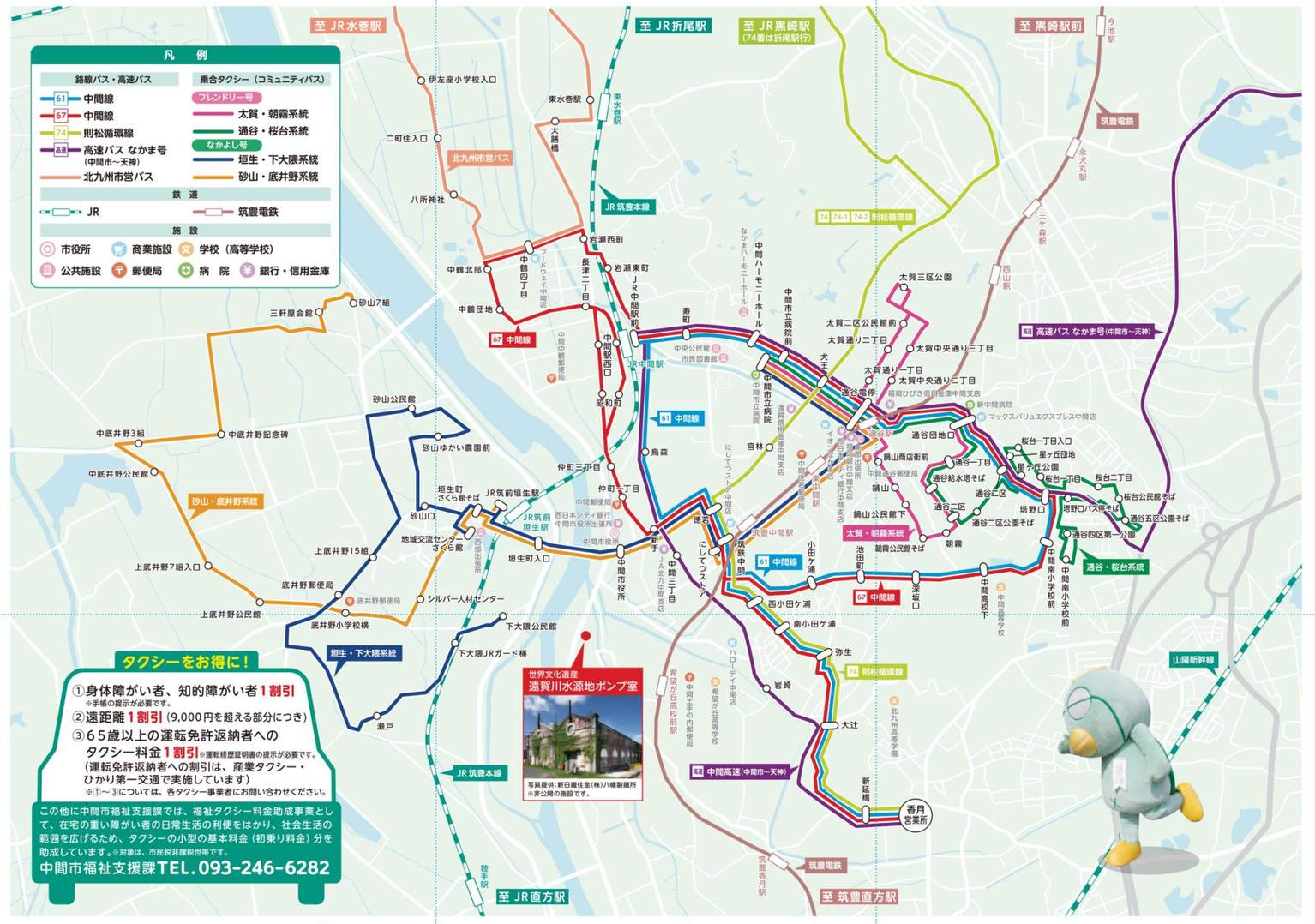
普段クルマを利用する方が一生のうちに起こすかもしれない事故の確率

事故でケガをさせてしまう	3人に2人
死亡事故をおこす	100人に1人
事故死する	300人に1人
人をひいて命をうばってしまう	250人に1人

出典：一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議ホームページ

中間市の皆さんが安心して暮らせるまちづくりのために、クルマを「かしこく」使い、一緒に公共交通を守り、育てていくぬん。

お得情報を教えるぬん！



65歳からの得券

くわしくはホームページで！

西鉄バス グランドパス65

65歳以上の方限定。西鉄の路線バス全線が1ヶ月6,000円で乗り放題。
高速・特急バス指定路線も半額になるお得な定期券です。

西鉄路線バス	高速・特急バス	西鉄電車
全線乗り放題！	半額！ ※対象路線に限ります	実質半額！

3ヶ月以上ならさらにお得！

3ヶ月券 13,000円	6ヶ月券 23,000円	1年分券 42,000円
1ヶ月あたり 4,333円	1ヶ月あたり 3,833円	1ヶ月あたり 3,500円

購入する際、運転経歴証明書を提示すると、発売価格から1,000円引き

割引特典で「得券」活用！

ホテルやレストランなどさまざまな施設で「グランパス65」を提示すると割引サービスを受けられます。※特典のご利用は定期券の期限内に限ります。

北九州都市圏で乗り放題の定期券&1日乗車券！

西鉄バス 得パス

1ヶ月 12,000円
3ヶ月 33,000円（1ヵ月あたり11,000円）
6ヶ月 64,000円（1ヵ月あたり約10,670円）

通勤・通学にとっても便利！仕事帰りや休日もフル活用できる。
エリア内は乗り放題だから乗り換え、乗り継ぎ自由自在！運賃の心配も小銭の用意も必要なし！

見せるだけで特典いっぱい！

商業施設やレジャー施設、提携飲食店などでの割引やサービスが受けられます。

1日フリー乗車券

大人券 800円　小児券 400円

北九州都市圏をバスで1日に何度も乗り降りする日には、「1日フリー乗車券」。がオススメ！観光に、お買物に、お仕事にぜひご利用ください。

お得にお出かけ！

筑豊電鉄 おとなり割引・休日家族割引

おとなり割引

120円でとなりの駅までちょっとおでかけ！
nimocaをはじめとする交通系ICカードで「となりの駅」までご乗車いただくとお得になります。

通常運賃180円・200円→ 120円
※黒崎駅前～熊西間および楠橋～木屋瀬間は2駅間となりますが120円にてご利用いただけます。

休日家族割引

日・祝日・お盆・年末年始など通勤定期券をお持ちの方が券面区間外を利用する場合やご家族が同伴する場合、全線均一200円（小児100円）にてご乗車いただけます。
※割引対象者：「ちくてつ通勤定期券」または「電車バス通勤定期券」をお持ちのお客さまと同伴する家族（両親、祖父母、配偶者、兄弟、姉妹、子ども、孫など）※通学定期券は対象外

図　中間市公共交通マップ（2/2）

2-2 南校区アンケート調査・モニタリング

南校区を運行するコミュニティバスに対し、運行から 1 年経過後の評価・検証を行う。また、モニタリングの検証に必要となるデータの収集、及び南校区コミュニティバスに対する住民のニーズを把握するため、アンケート調査を行い、地形的な高低差による公共交通不便地の改善に向けた検討を行った。

2-2-1 南校区アンケート調査

1）調査概要

①調査の目的

南校区コミュニティバスのモニタリング、及び南校区コミュニティバスに対する住民ニーズの把握のために、中間南校区の住民を対象としたアンケート調査を実施した。

②調査対象

本調査は中間南校区 4,703 世帯を対象に調査を行った。

③調査方法

市の広報誌を配布している中間南校区の全世帯に配布し、郵送にて回収を行った。

④調査期間

平成 28 年 10 月 3 日（月）～平成 28 年 10 月 19 日（水）

⑤回収状況

上記の方法により、調査を実施した結果、4,703 票の配布に対し、1,500 票の回収があり、回収率は、約 32%となった。

なお、地区別の回収票数、及び回収率を下表にて示す。

表　地区別回収票数

	地区								合計
	太賀	鍋山町	朝霧	通谷	桜台	星ヶ丘	扇ヶ浦	無回答	
配布票数	988	343	690	1826	464	252	140	－	4703
回収票数	348	101	229	538	158	55	28	43	1,500
回収率	35.2%	29.4%	33.2%	29.5%	34.1%	21.8%	20.0%	－	31.9%

⑥その他

回収票 1,500 票から得られた同居家族を含む市民の回答数：3,277 サンプル

⑦調査ツール

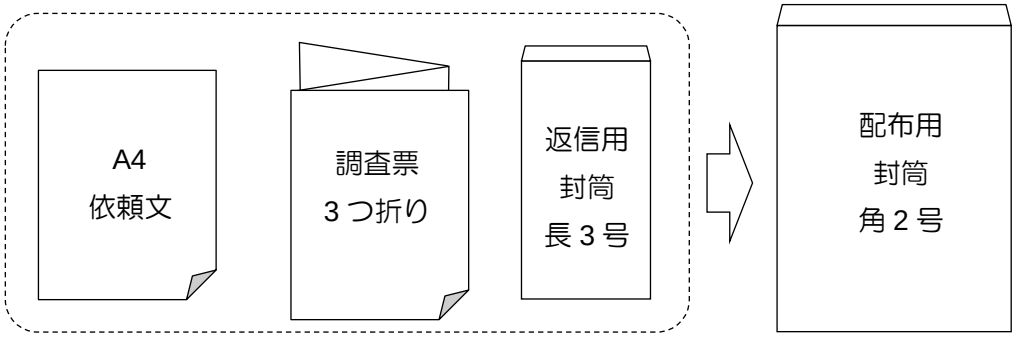
調査には、以下のツール用いた。（詳細を次ページ以降に示す。）

●依頼文　A4 片面 1 枚

●配布用封筒　角 2 号

●返信用封筒　長 3 号

●調査票（630mm×297mm：3 つ折り）



【依頼文】

南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関するアンケート調査について（ご協力のお願い）

中間南校区では、既存の公共交通との連携を目的とした新しい地域公共交通の導入に向けたモデル地区として、平成 27 年 10 月よりフレンドリー号の運行が開始され、9 月末で 1 年を迎えます。

今回、フレンドリー号が運行したことにより、高台にお住いの住民の皆様を日常生活の場へお運びするという目的は果たしているものの、利用者数が 1 便あたり 1 人を満たしていないという現状にあり、今後、運行改善を図り、中間南校区の皆様にさらにご利用いただけるよう、現在のご利用状況や運行内容について、ご意見をいただくことを目的としたアンケート調査を実施させていただきます。

お忙しいところお手数をお掛け致しますが、本調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。なお、調査結果はすべて統計的な処理にのみ使用し、調査の目的以外に使用することはありませんので、ご安心ください。

平成２８年１０月

中間市地域公共交通会議会長　後藤　哲治

【記入にあたってのお願い】

●世帯の中でどなたかおひとり（世帯全体のことを把握している方）が現時点（記入時）の状況をお答えください。

●回答は調査票に直接、鉛筆またはボールペンでご記入ください。
また、回答は、番号に〇を付けていただくものと、ご記入をいただくものがあります。
（　　）内には、具体的な内容をご記入ください。

●記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れていただき、下記アンケート回答締め切り日までに郵便ポストに投函してください。

アンケート回答締め切り：**平成２８年１０月１９日（水）まで**

●ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いします。

【この調査の問い合わせ先】
中間市地域公共交通会議事務局（中間市役所 住宅都市交通対策課 交通対策係）
直通：093-246-6155

※調査委託会社：株式会社ケー・シー・エス九州支社

【送付用封筒（角２号）】

南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関するアンケート調査

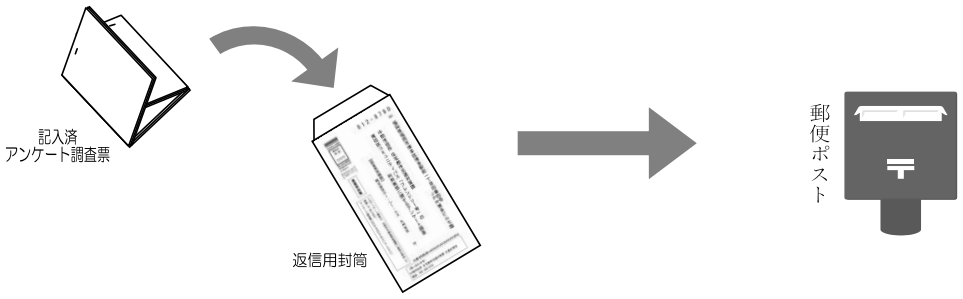
南校区コミュニティバスの利用実態を調査し、運行内容の改善を行うための重要なアンケート調査です。ご回答をよろしくお願いします。

◆このアンケート調査は、中間市役所住宅都市交通対策課が実施しています。

◆ご記入いただいた個人情報およびアンケートの回答内容はすべて統計情報としてのみ使用し、他の目的に使用することはありません。

※調査票の提出方法

・同封の『返信用封筒』（細長い封筒）をご使用ください。
・記入済アンケート調査票を返信用封筒に入れ、「最寄りの郵便ポスト」に10月19日（水）までに切手を貼らずに投函してください。



回答締切日：平成28年10月19日（水）まで

◆調査の内容、アンケートの記入方法などについてわからない点がありましたら、下記にお問い合わせください。

中間市地域公共交通会議事務局（中間市役所住宅都市交通対策課交通対策係）
☎０９３－２４６－６１５５

福岡県 中間市役所
〒809-8501
福岡県中間市中間一丁目1番1号
代表　TEL 093(244)1111
　　FAX 093(245)5598
http://www.city.nakama.lg.jp/
〔市民憲章〕人をだいじにし、心ゆたかなまちをつくります。

元気な風がふくまち なかま

差出課 住宅都市交通対策課
直通電話 093-246-6155
平成　28年 10月　3日

【返信用封筒（長３号）】

812-8790

101

福岡県福岡市博多区博多駅前一丁目四番四号
ＪＰＲ博多ビル七階

中間市役所 住宅都市交通対策課
南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の
利用実態に関するアンケート調査
【調査実施機関】
株式会社ケー・シー・エス 九州支社
行

料金受取人払郵便
博多北
承 認
5314
差出有効期間
平成28年12月
31日まで
切手を貼らずに
ご投函ください

返信用封筒

このアンケート調査は、中間市が調査実施機関に業務を委託して実施しております。
アンケート調査票以外のものは入れないでください。

（問い合わせ先）
中間市役所 住宅都市交通対策課 交通対策係
電話：093-246-6155

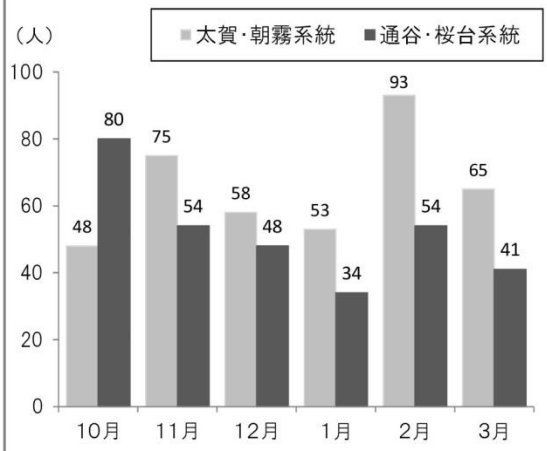
【調査票】

中間南校区をフレンドリー号が運行しています！

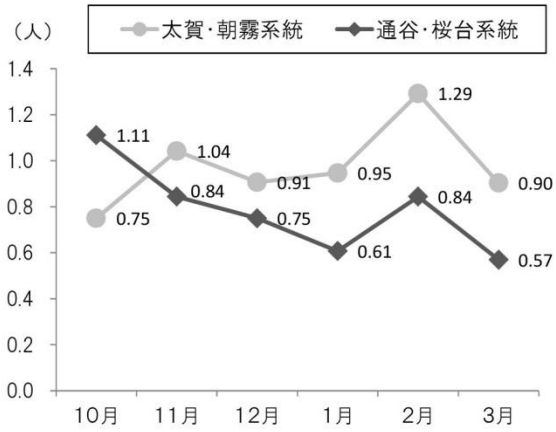
フレンドリー号は、急な坂道が多い中間南校区でお年寄りや体の不自由な方などに限らず、自動車の運転が困難な方や自動車をお持ちでない方など、誰でも気軽に利用できる移動手段として活用しています。

【南校区コミュニティバス(フレンドリー号)】
タクシー車両で運行しています！

しかし、フレンドリー号の利用者は、まだ少ない状況にあり、１便あたりの利用者数が１人未満となっている月もあり、利用者が１人も乗っていないまま運行している便もある状況です。



▲フレンドリー号の月別利用者数



▲フレンドリー号の月別１便あたり平均利用者数

フレンドリー号の運行を始めた昨年 10 月から今年３月までの期間で、フレンドリー号の運行に、中間市は約 100 万円以上を負担しています。市の財政負担額を利用者１人あたりに換算すると、**利用者１人１回の利用に対して、中間市が約 1,500 円を負担していることになります。**また、１キロあたりの運行経費に換算すると、約 277 円となります。

なお、今後もフレンドリー号の運行を継続していくために、中間市は１便あたりの利用者の目標を２人としており、１便あたりの**平均利用者数が２人になると、**利用者１人に対する市の財政負担額を**約 560 円まで減らすことができます。**

	運行便数（便）	利用総数（人）	運行経費（円）	運賃収入（円）	市の補てん額（円）	運行1便あたりの平均利用者数（人/便）	利用者一人あたりの市の財政負担（円/人）
太賀･朝霧系統	400	392	585,750	70,100	515,650	0.98	1,315
通谷･桜台系統	392	311	619,351	59,800	559,551	0.79	1,799
全体	792	703	1,205,101	129,900	1,075,201	0.89	1,529

▲フレンドリー号の運行経費と利用者数

乗る人が少ないと運行を維持していくことが難しくなります。
地域のため、みなさんやみなさんの家族の将来のために少しずつでも利用して、どうすればより快適で使いやすいフレンドリー号になるか、一緒に考え、みんなで育てていきましょう！

→２ページ以降がアンケート調査票になっております。

南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用実態に関するアンケート調査票

Ⅰ．お住まいの方の状況についてお聞きします。

問1　お住まいのご住所をお教えください。（該当する番号に○をご記入ください。）

1. 太賀　2. 鍋山町　3. 朝霧　4. 通谷　5. 桜台　6. 星ヶ丘　7. 扇ヶ浦

（＿＿＿＿＿）丁目（丁字名を記入）

問2　最寄りの公共交通機関（バス停・電停）までの所要時間は、徒歩何分程度ですか。
（該当する番号に○をご記入ください。）

1. すぐ近く(1分以内)　2. 2～5 分　3. 6～10 分　4. 11～15 分
5. 16～20 分　6. 21～30 分　7. 31 分以上

問3　ご自宅に、自家用車は何台ありますか。（該当する番号に○をご記入ください。）

1. 0台　2. 1 台　3. 2 台　4. 3 台以上

問4　記入者及び同居の家族の外出の状況
（該当する項目にご記入、及び該当する番号に○をご記入ください。）

※1 週間で最も外出が多い外出先のことについてお答えください。
※同居の家族が 4 名以上いる場合は、主に外出される方を 4 名選んでお答えください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
4-1 年齢	歳	歳	歳	歳	歳
4-2 性別	1. 男性　2. 女性	1. 男性　2. 女性	1. 男性　2. 女性	1. 男性　2. 女性	1. 男性　2. 女性
4-3 運転免許	1. あり　2. なし	1. あり　2. なし	1. あり　2. なし	1. あり　2. なし	1. あり　2. なし
4-4 主な外出目的（1つ選択）	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味･習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味･習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味･習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味･習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味･習い事 6. その他
4-5 外出頻度（1つ選択）	1. 週 5 回以上 2. 週 3～4 回 3. 週 1～2 回 4. 月に 1～2 回 5. ほとんど外出しない	1. 週 5 回以上 2. 週 3～4 回 3. 週 1～2 回 4. 月に 1～2 回 5. ほとんど外出しない	1. 週 5 回以上 2. 週 3～4 回 3. 週 1～2 回 4. 月に 1～2 回 5. ほとんど外出しない	1. 週 5 回以上 2. 週 3～4 回 3. 週 1～2 回 4. 月に 1～2 回 5. ほとんど外出しない	1. 週 5 回以上 2. 週 3～4 回 3. 週 1～2 回 4. 月に 1～2 回 5. ほとんど外出しない
4-6 交通手段（1つ選択）	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク･原付 4. 自家用車（自分で運転） 5. 自家用車（家族等の送迎） 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク･原付 4. 自家用車（自分で運転） 5. 自家用車（家族等の送迎） 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク･原付 4. 自家用車（自分で運転） 5. 自家用車（家族等の送迎） 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク･原付 4. 自家用車（自分で運転） 5. 自家用車（家族等の送迎） 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー	1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク･原付 4. 自家用車（自分で運転） 5. 自家用車（家族等の送迎） 6. バス 7. 筑豊電鉄 8. JR 9. タクシー

問5　【4-4 主な外出目的】で選んだ外出先ついて、市内、市外の該当する番号に○をつけ、外出先の住所（場所）をご記入ください。

※市内を選んだ方は、下段に住所と施設名を記入ください。　(例)住所：中間一丁目　場所：中間市役所

※市外を選んだ方は、下段に市町村名を記入ください。　(例)北九州市八幡西区

	記入者	同居家族 1	同居家族 2	同居家族 3	同居家族 4
外出先の場所	1. 市内　2. 市外	1. 市内　2. 市外	1. 市内　2. 市外	1. 市内　2. 市外	1. 市内　2. 市外
	住所 （　　） 具体的な場所を記入 （　　）	住所 （　　） 具体的な場所を記入 （　　）	住所 （　　） 具体的な場所を記入 （　　）	住所 （　　） 具体的な場所を記入 （　　）	住所 （　　） 具体的な場所を記入 （　　）

Ⅱ．フレンドリー号についてお聞きします。

問6　フレンドリー号の利用状況について、該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
6-1　フレンドリー号の運行をご存じですか（1つ選択）	1. 知ってる 2. 知らない	1. 知ってる 2. 知らない	1. 知ってる 2. 知らない	1. 知ってる 2. 知らない	1. 知ってる 2. 知らない
6-2　フレンドリー号の利用状況（1つ選択）	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない	1. 利用したことがある 2. 利用したことがない

『1. 利用したことがある』と回答された方は　**次のページの問7へお進みください。**

『2. 利用したことがない』と回答された方は　**5ページの問9へお進みください。**

公共交通による移動を考えてみませんか？

○健康によい！

バス停までの歩きや駅構内の階段の昇降など、歩く機会が増えることで健康維持につながります。

○交通事故のリスク低減！

クルマを運転すると、自分にも他人にも交通事故の危険がともないます。

○お財布にやさしい！

マイカーを持つと、ガソリン代や高速道路の使用料だけでなく、保険、税金など、意外とお金がかかってしまいます。

○環境にやさしい！

二酸化炭素の排出量を減らすことで、地球温暖化の防止に貢献できます。

【フレンドリー号をご利用されたことがある方にお聞きします。】

問7 フレンドリー号の利用目的と運行サービスの満足度について、該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
7-1 利用目的 （複数回答可）	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 趣味・習い事 6. その他
7-2 運行時間 （1つ選択）	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満
7-3 運行便数 （1つ選択）	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満
7-4 運行ルート （1つ選択）	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満
7-5 運賃 （1つ選択）	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満
7-6 他の交通手段との乗り継ぎ （1つ選択）	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満
7-7 バス停の距離や間隔 （1つ選択）	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満
7-8 車内の乗り心地 （1つ選択）	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満	1. 満足 2. どちらとも いえない 3. 不満

【フレンドリー号をご利用されたことがある方にお聞きします。】

問8　フレンドリー号の運行に対して要望したい改善点はなんですか。以下の選択肢から選んで番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族 1	同居家族 2	同居家族 3	同居家族 4
改善点 （複数回答可）	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9

1. 運行便数を増やしてほしい
2. 運行日を増やしてほしい
3. バス停を増やしてほしい
4. 運行ルートを変更してほしい
5. 鉄道や路線バスと乗り継ぎしやすくしてほしい
6. 時刻表通りに運行してほしい
7. 運賃を下げてほしい
8. 特にない
9. その他

【フレンドリー号をご利用されたことがある方、ない方もお答えください。】

問9　フレンドリー号の不便な点や利用しない理由を以下の選択肢から選んで番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族 1	同居家族 2	同居家族 3	同居家族 4
利用しない理由 （複数回答可）	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9 10 ・ 11 ・ 12 13 ・ 14	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9 10 ・ 11 ・ 12 13 ・ 14	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9 10 ・ 11 ・ 12 13 ・ 14	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9 10 ・ 11 ・ 12 13 ・ 14	1 ・ 2 ・ 3 4 ・ 5 ・ 6 7 ・ 8 ・ 9 10 ・ 11 ・ 12 13 ・ 14

1. 行くときに利用したい時間帯と合わない
2. 帰るときに利用したい時間帯と合わない
3. 路線・ルートが合わない
4. 運賃が高い
5. 運行ルートや運行時刻がわからない
6. バス停が遠い
7. 電車や路線バスとの乗り継ぎが悪い
8. バスを待つのがめんどう
9. 手荷物を運ぶのがわずらわしい
10. 他の交通手段があり利用する必要がない
11. 目的地へ行くまで時間がかかる
12. 特にない
13. 利用したことがないため、分からない
14. その他

問 10　フレンドリー号の市の財政負担額について、利用者 1 人あたりに換算すると、市が利用者 1 人 1 回の利用に対し、約 1,500 円を負担していることをどう思いますか。該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
利用者 1 人あたりの市の財政負担額について（1つ選択）	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない	1. 負担が多い 2. ちょうど良い 3. 負担が少ない

問 11　フレンドリー号の運行費用は、運行を開始した昨年 10 月からの半年間で中間市が約 100 万円以上の財政負担をしており、今後、運行を維持していくためには、市の財政負担を軽減させる必要があります。今後もフレンドリー号の運行を維持していくためには、どのような方法が望ましいとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。
（なお、1 便あたりの平均利用者数が市の目標である 2 人になると、利用者 1 人に対する市の財政負担額が約 560 円になり、持続可能な運行につながります。）

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
市の財政負担について（1つ選択）	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6

1. 地域住民が積極的に利用して、維持していくべき　2. 運賃の値上げ等、利用者の負担で維持していくべき
3. 市が他のサービスを削っても維持していくべき　4. サービスの質（運行日数、運行便数等）を下げ、維持していくべき
5. わからない　6. その他

問 12　フレンドリー号の今後の利用について、あなたはどのように思われますか。該当する番号に○をつけてください。

	記入者	同居家族1	同居家族2	同居家族3	同居家族4
今後のフレンドリー号の利用について（1つ選択）	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6	1 ・ 2 3 ・ 4 5 ・ 6

1. 現在も利用している　2. これからは積極的に利用したいと思う
3. 今後、可能な範囲で利用したいと思う　4. 今後も利用しないと思う
5. わからない　6. その他

問 13　フレンドリー号について、体験して感じたことや改善点など具体的にご記入ください。
（運行日数、便数、時刻、運賃など）
また、その他ご要望、ご意見等ございましたら、お聞かせください。

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

2）調査結果

①アンケート調査の回答者の属性

○回答者の居住地は、通谷が 35.9%、太賀が 23.2%の順に多い。
○自宅にある自家用車の台数は、１台が 44.3%、２台が 27.3%、３台以上が 7.3%であった。
　２台以上の自家用車を所有する世帯は約３５%と 1/3 を占める。

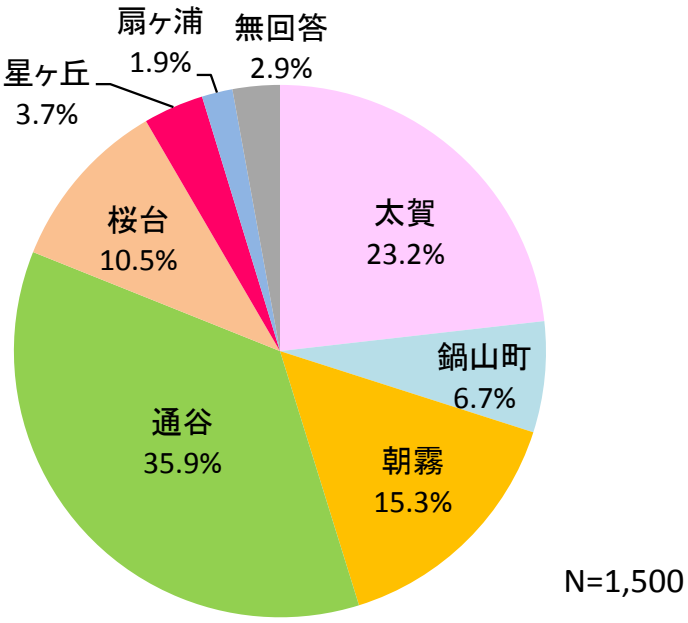


図 1　居住地

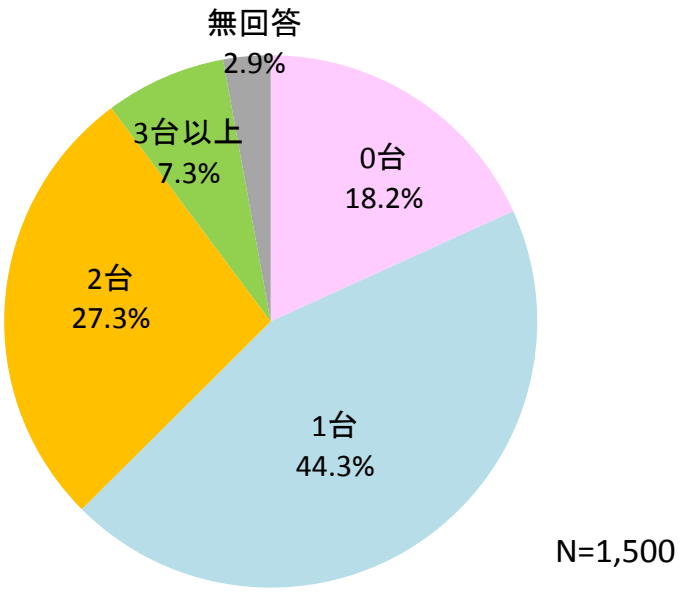


図 2　自家用車の台数

○同居者も含めると、男女の割合は男性 41.9%、女性 52.7%であった。
○最も多い年齢は 65～74 歳の 28.0%で、次いで 75 歳以上の 20.7%となる。また、65 歳以上の高齢者が 48%とほぼ半数を占めている。

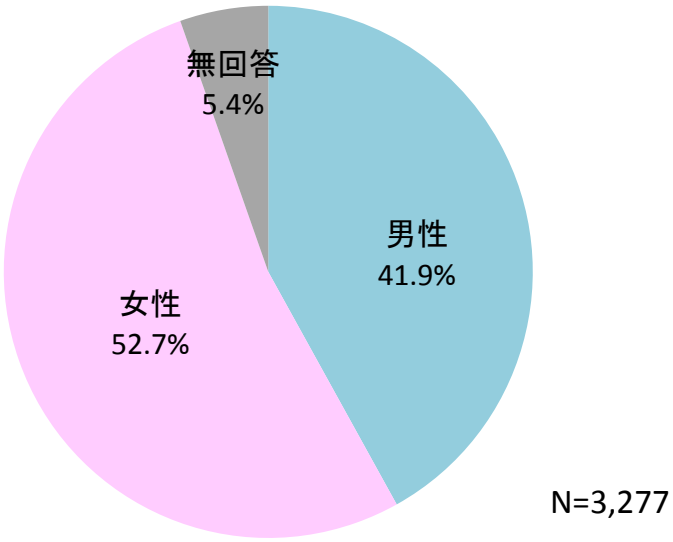


図 3　性別

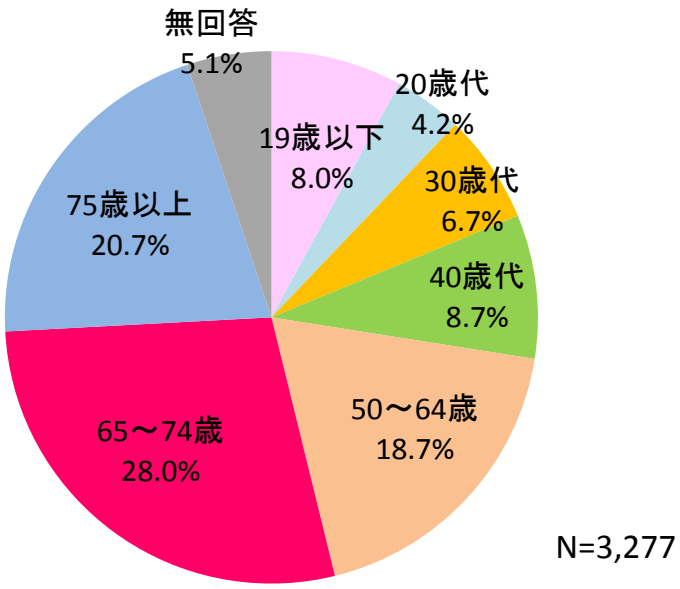


図 4　年齢

〇全体の 61.5%が運転免許証を保有している。
〇年齢別にみると 20 歳以上の多くが保有している一方で、75 歳以上になると 60.1%が保有していない状況にある。

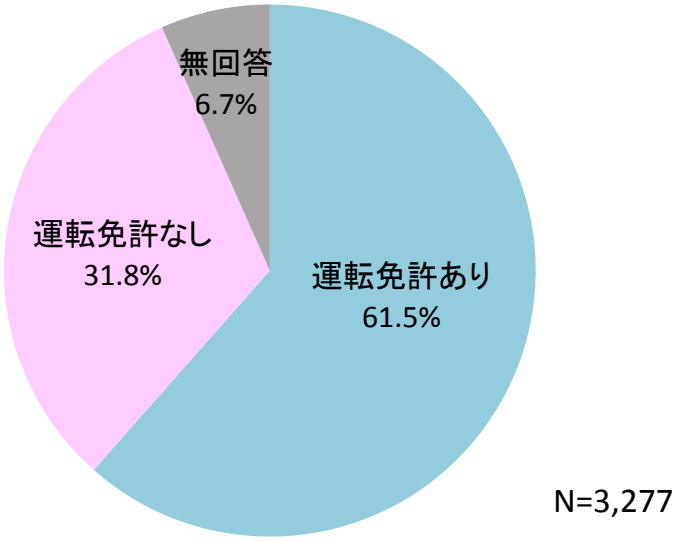


図 5　免許証の有無

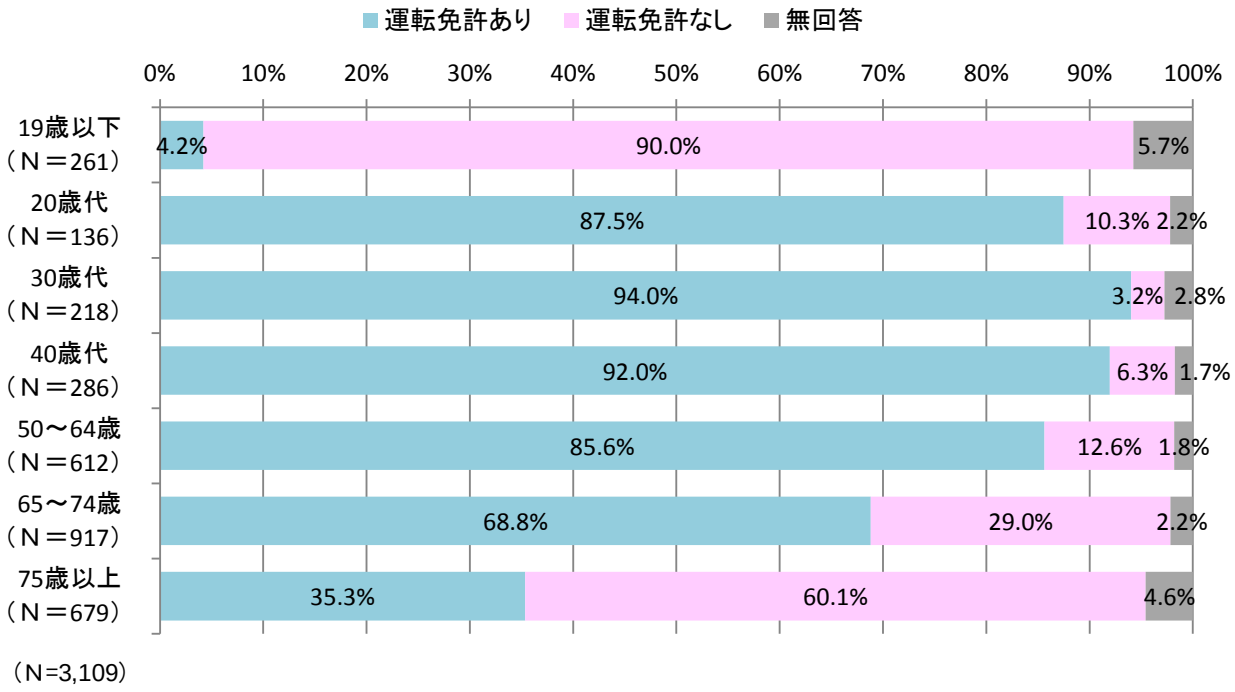


図 6　年齢別の免許証保有状況

②最寄りの公共交通機関までの徒歩による所要時間

○所要時間は、2～5 分が 40.7%で最も多く、次いで 6～10 分の 31.3%である。
○すぐ近くが 7.2%であるのに対し、11 分以上要するのは 16.4%になっている。
○回答者の加重平均による所要時間でみると、概ね6分という状況にある。

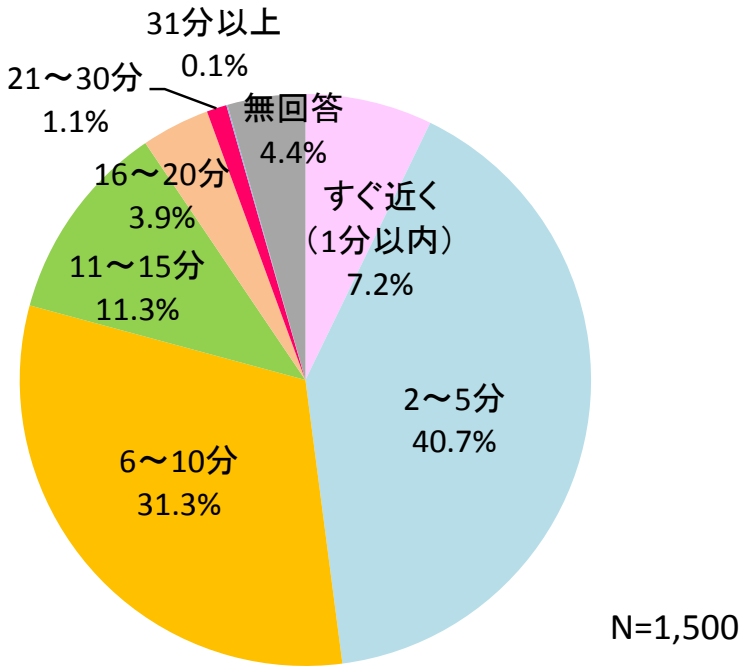


図 7　最寄公共交通機関までの徒歩による所要時間

表 1　南校区の最寄の公共交通機関までの徒歩による所要時間の平均

徒歩での所要時間	票数 ①	計算上の所要時間 ②　（分）	計算上の所要時間 ①×②　（分）
すぐ近く（1分以内）	108	1.0	108.0
2～5分	611	2.5	1527.5
6～10分	469	7.5	3517.5
11～15分	170	12.5	2125.0
16～20分	58	17.5	1015.0
21～30分	17	25.0	425.0
31分以上	1	30.0	30.0
計	1,434	－	8748.0
平均			6.1

※無回答分（66 票）については、除いて試算

③外出の状況（目的と頻度）

○主な外出の目的は、通勤が 29.7%と最も多く、買い物が 28.5%であった。
○目的別の外出頻度について、週 1～2 回から週 5 回以上の合計でみると、買い物が 97.2%、通院が 69.4%の割合で毎週 1 回以上出かけている状況にある。
○年齢別の外出頻度では、６４歳までは大多数が週５回以上の外出であるが、６５歳以上になると週に数回の外出となってくる。

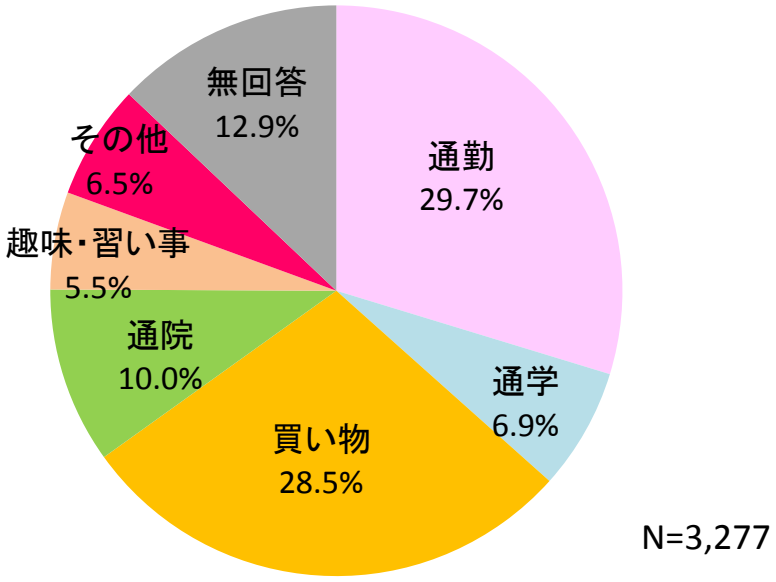


図 8　外出目的

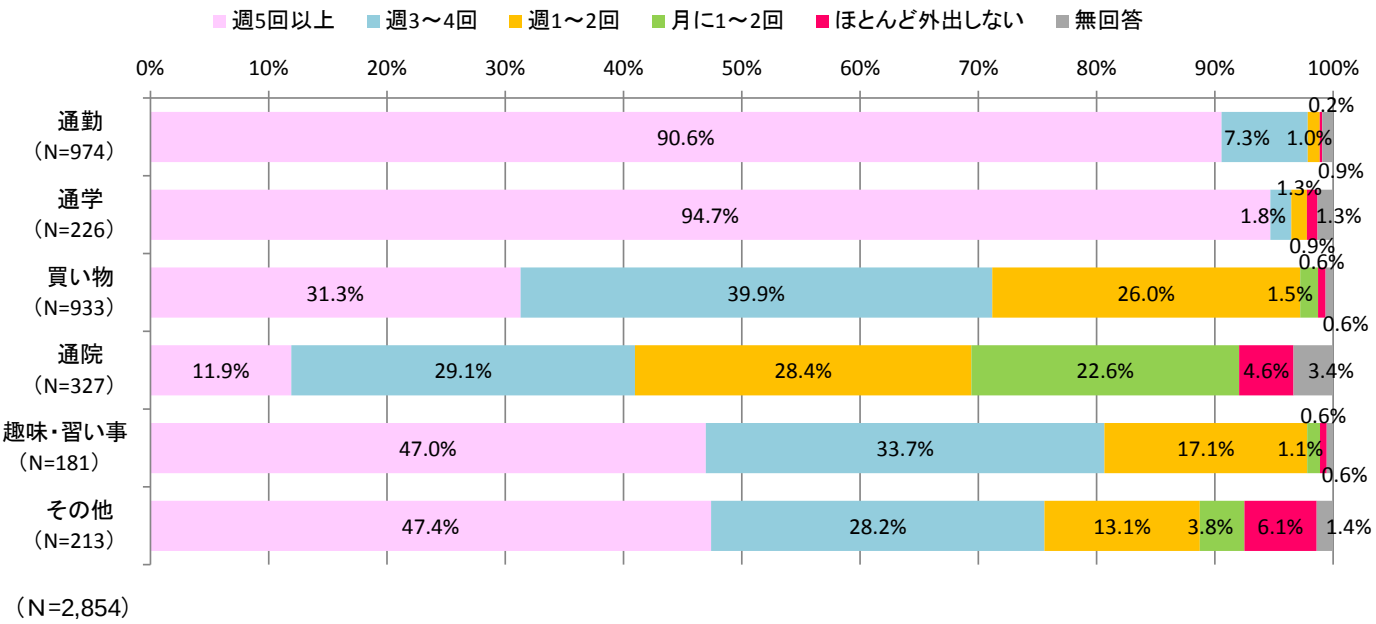


図 9　外出頻度（目的別）

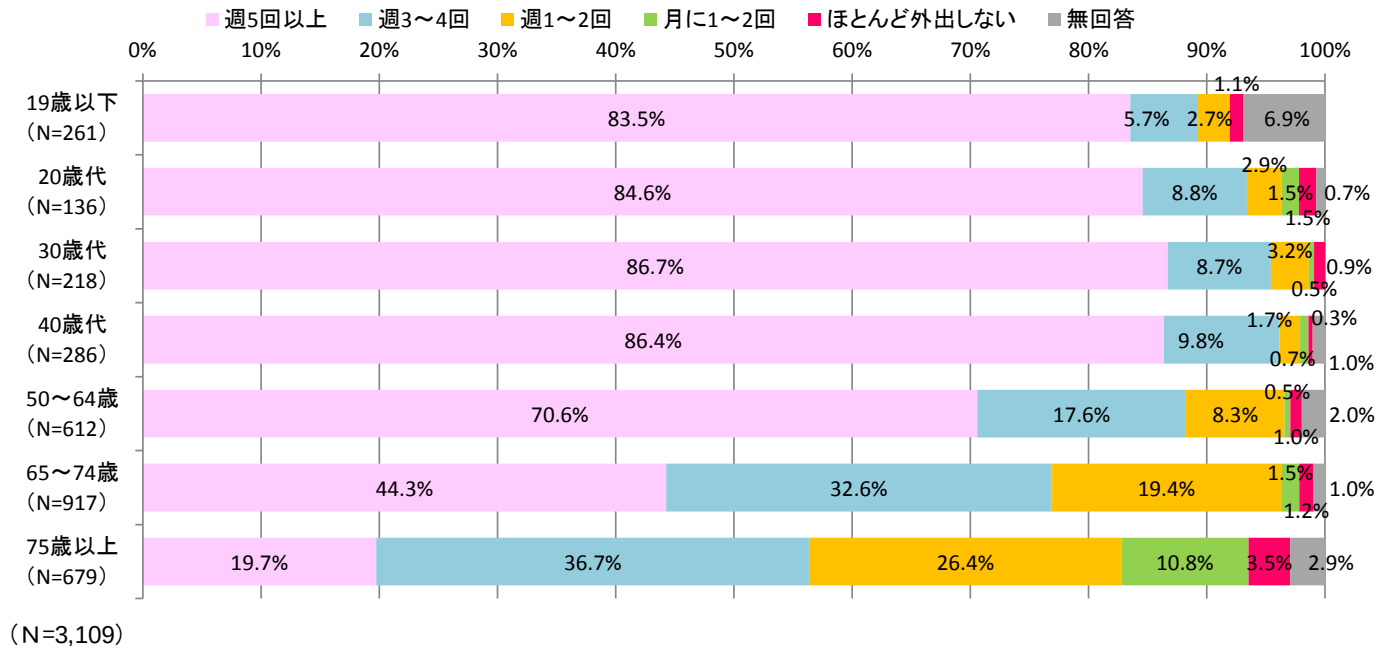
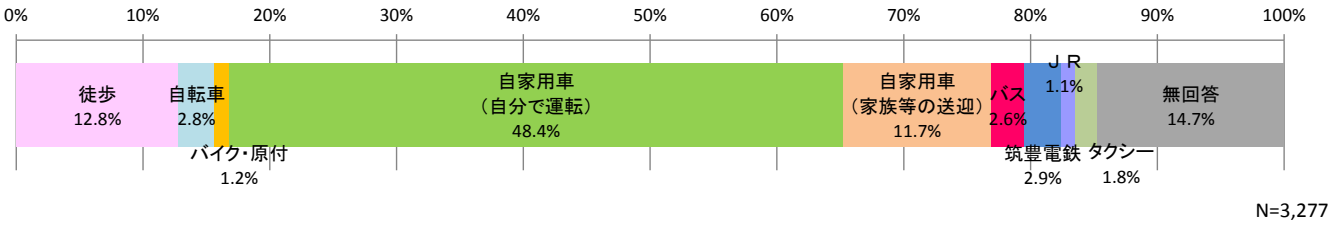

週5回以上
週3～4回
週1～2回
月に1～2回
ほとんど外出しない
無回答
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
19歳以下（N=261）
83.5%
5.7%
2.7%
1.1%
6.9%
20歳代（N=136）
84.6%
8.8%
2.9%
1.5%
0.7%
1.5%
30歳代（N=218）
86.7%
8.7%
3.2%
0.9%
0.5%
40歳代（N=286）
86.4%
9.8%
1.7%
0.3%
0.7%
1.0%
50～64歳（N=612）
70.6%
17.6%
8.3%
0.5%
1.0%
2.0%
65～74歳（N=917）
44.3%
32.6%
19.4%
1.5%
1.2%
1.0%
75歳以上（N=679）
19.7%
36.7%
26.4%
10.8%
3.5%
2.9%
（N=3,109）

図 10　外出頻度（年齢別）

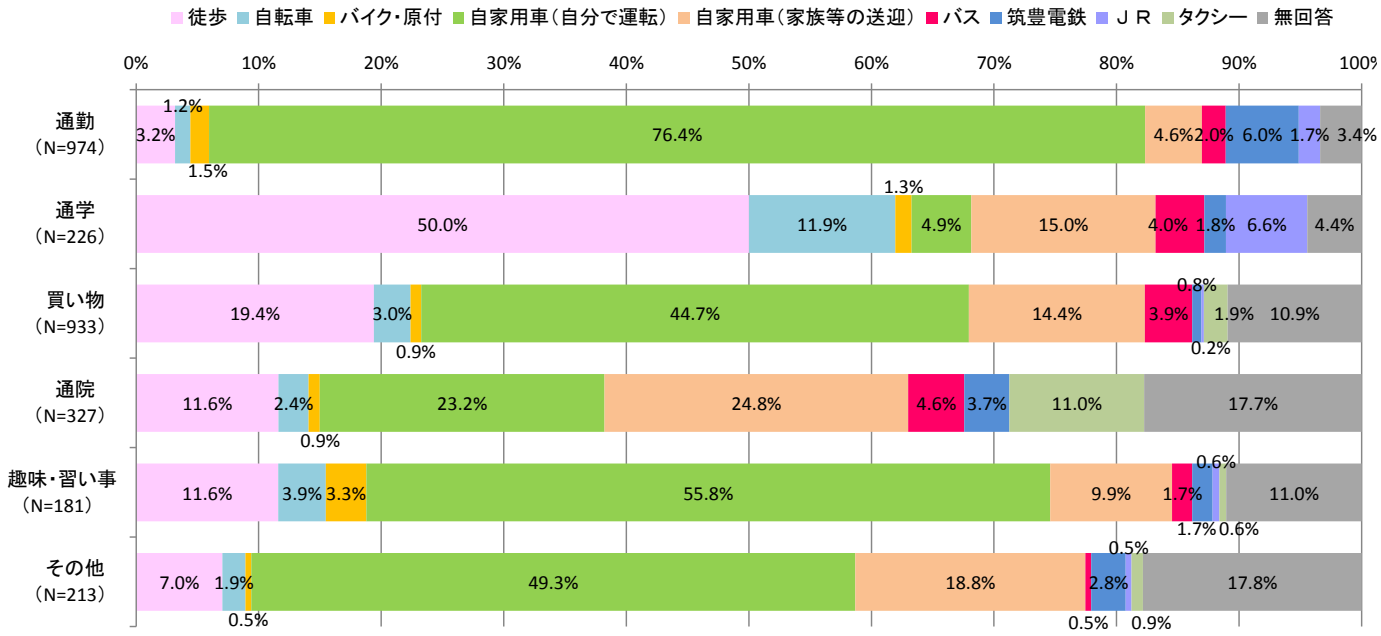
④外出の状況（移動手段）

○移動手段の割合は、自家用車が 48.4%と多くを占める状況にある。
○外出目的別に割合をみると、通勤に公共交通を利用する割合が非常に少なく、買い物や通院に、やや公共交通の利用が見られる程度である。通院の移動手段の 11%がタクシーという状況にある。



N=3,277

図 11　移動手段

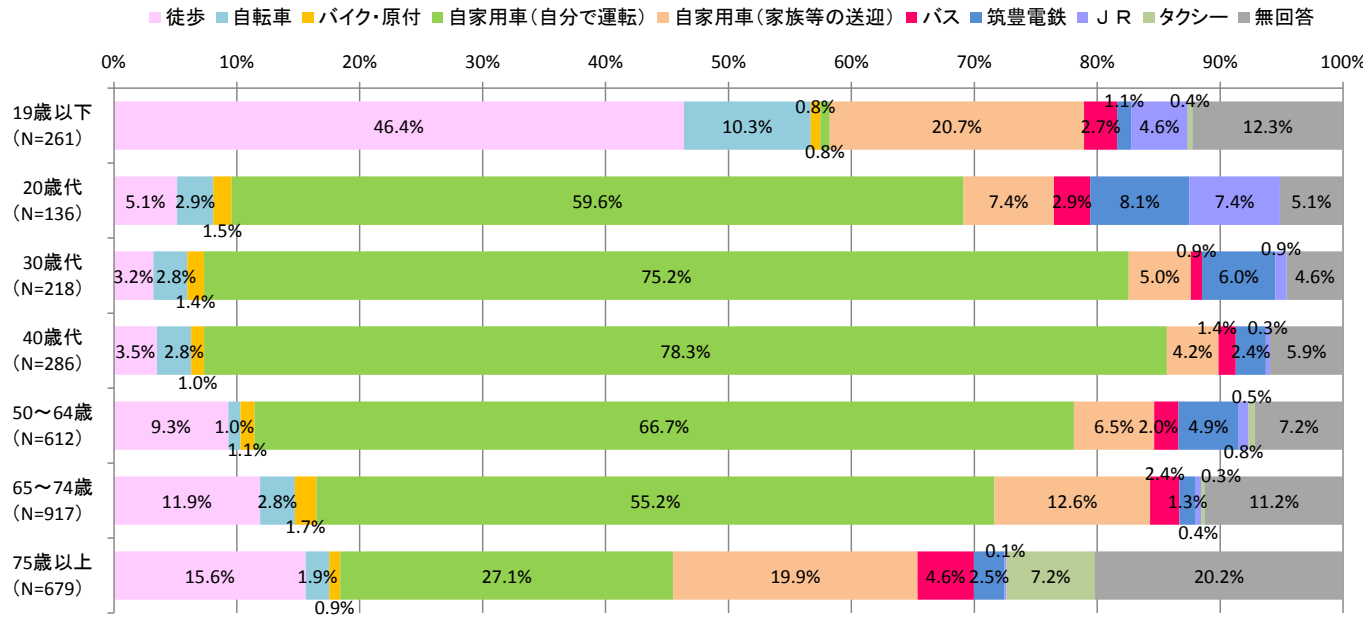


（N=2,854）

図 12　移動手段（目的別）

⑤外出の状況（年齢別の移動手段）

○年齢別の移動手段の割合は、２０歳から６４歳までの多くは自家用車となっている。６５歳以上になると自家用車の割合が減少し、７５歳以上になると家族の送迎やバス・タクシーの割合が大きくなる。



（N=3,109）

図 13　移動手段（年齢別）

⑥外出の状況（外出先）

○主な外出先は市内が 43.1%、市外が 46.1%と、市内外への外出の割合はほぼ同じとなっている。
○年齢別に見ると、若い世代ほど市外へ出かけ、６５歳以上になると市内への外出の割合が増えてくる。７５歳以上になると市外へ外出する割合は 28.6%と少なくなる。

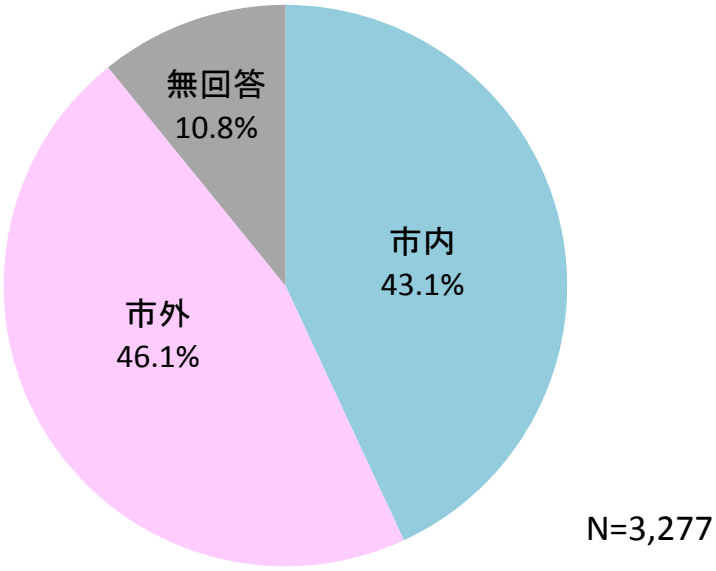
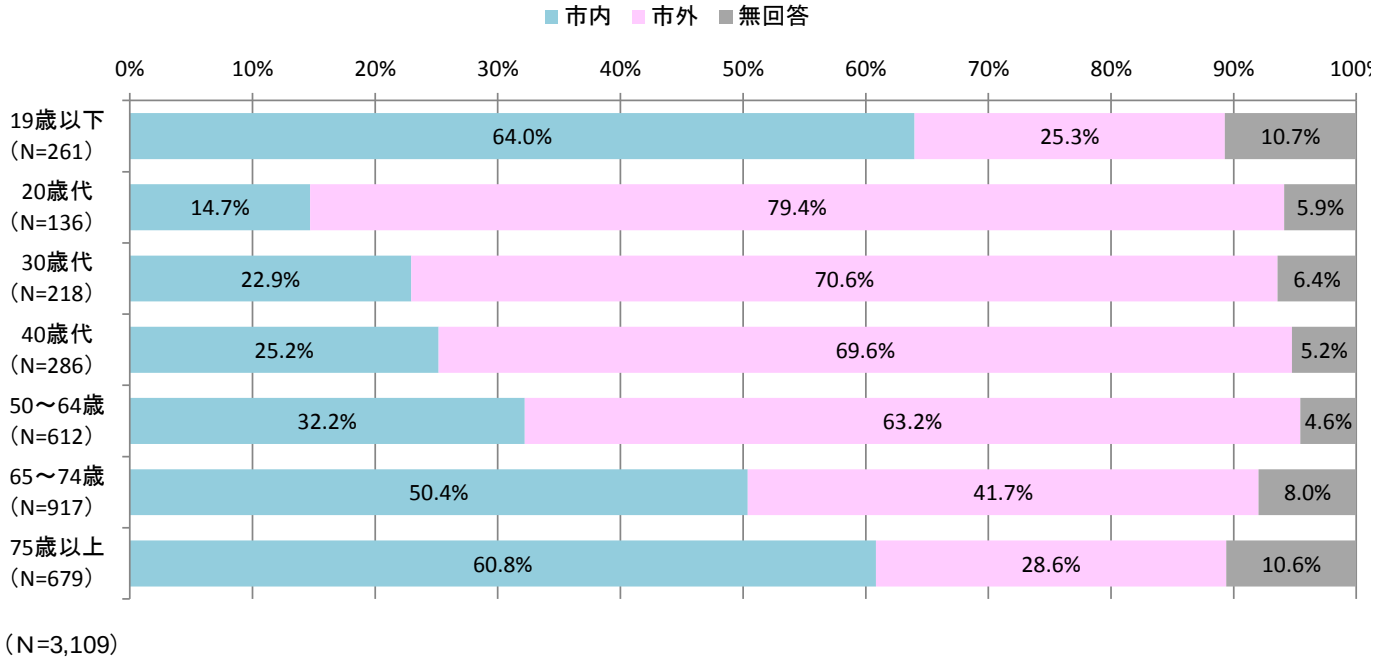


図 14　主な外出先の市内と市外の割合



（N=3,109）

図 15　主な外出先の市内と市外の割合（年齢別）

⑦外出の状況（市外の外出先）

〇市外への外出先をみると、八幡西区が圧倒的に多く、他に八幡東区や小倉北区など北九州市内への外出が大多数という状況である。
〇そのほかでは直方市、水巻町、岡垣町など中間市近隣の自治体への外出が目立っている。

表 ２　市外の外出先

外出先（市外）	票数
八幡西区	735
八幡東区	83
小倉北区	74
直方市	66
北九州市（詳細不明）	65
若松区	53
戸畑区	45
水巻町	42
福岡市	40
岡垣町	19
小倉（詳細不明）	18
小倉南区	16
鞍手町	15
飯塚市	15
宮若市	15

（N=1,510）

⑧外出の状況（市内の外出先）

〇市内の外出先の施設は、主にイオンなかま店が圧倒的に多く、ほかには中間市立病院をはじめ病院や商業施設、小中学校といった公共施設への外出が見受けられる。

表 ３　市内の外出先上位１０施設

外出先施設	票数
イオンなかま店	409
中間市立病院	65
中間南小学校	46
中間市役所	22
マックスバリュエクスプレス中間店	18
新中間病院	18
中間南中学校	18
ハローデイ中尾店	17
生涯学習センター	15
中央公民館	13

（N=1,412）

⑨フレンドリー号の認知状況

〇フレンドリー号の認知状況は、７割程度が知っていると回答している。

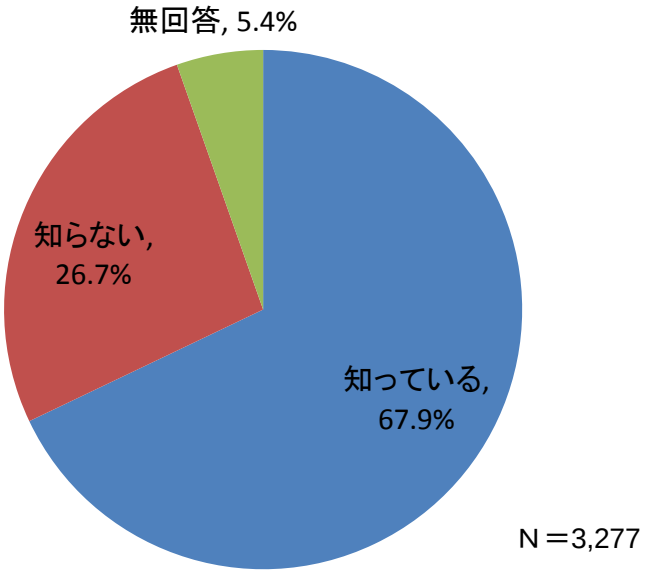


図 16　フレンドリー号の認知状況

⑩フレンドリー号の利用状況

○利用状況については、利用したことがあるのは 3%程度で、約 9 割が利用したことがないと回答している。
○利用したことがあると答えた回答者の約 6 割が 75 歳以上の後期高齢者となり、65 歳以上の高齢者で利用したことがあると答えた回答者の 9 割程を占めている。

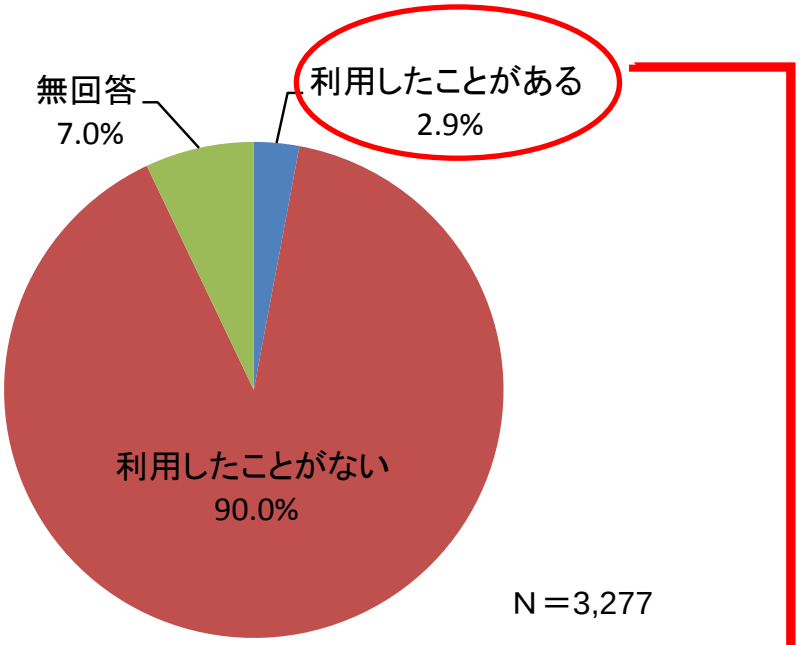


図 17　フレンドリー号の利用状況

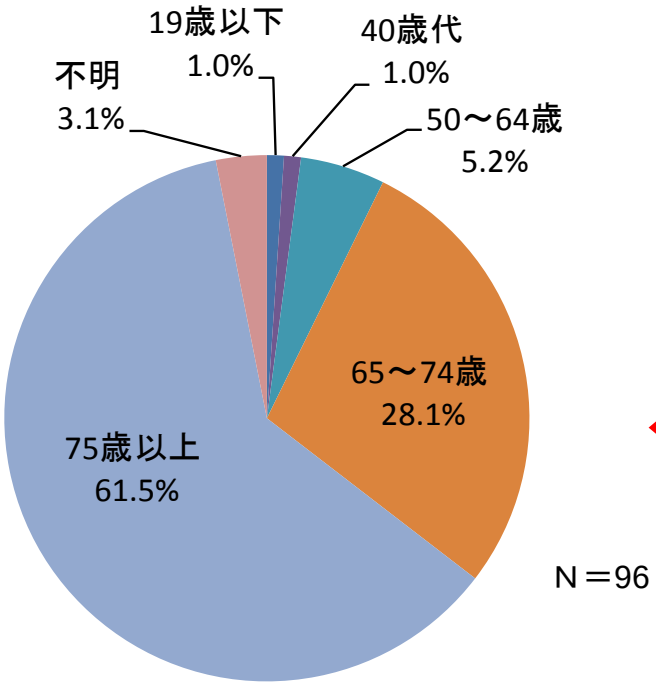


図 18　フレンドリー号を利用したことがあると答えた回答者の年齢構成

⑪フレンドリー号の利用目的

○利用目的としては、通院が最も多く、約６割を占め、買い物が約５割となっている。

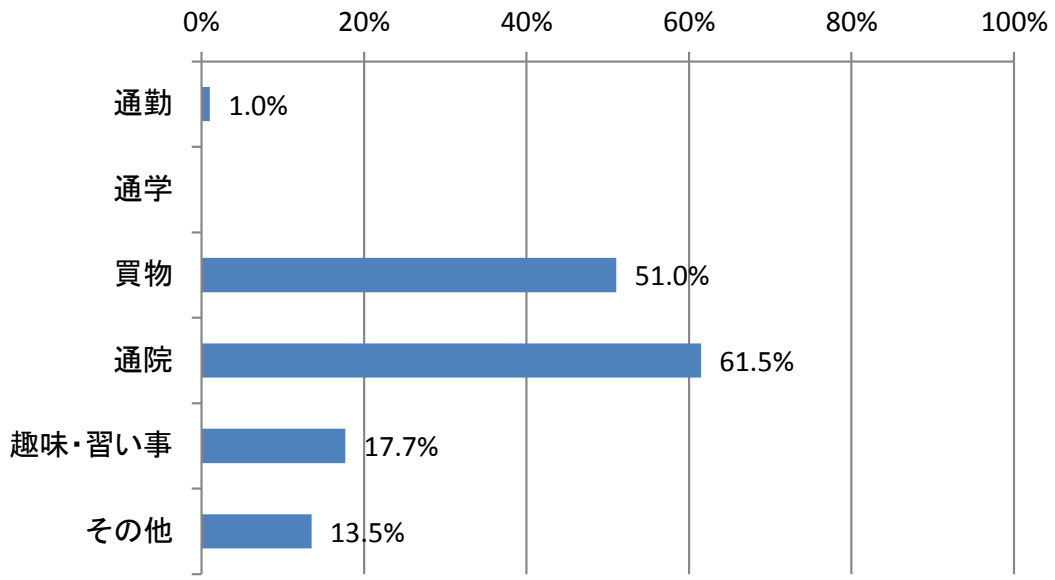


図 19　フレンドリー号の利用目的

N＝96

⑫フレンドリー号の運行サービスの満足度

○「運行便数」、「運行ルート」、「運行時間」については、利用者の 3～4 割程度が不満と回答しており、満足の割合よりも不満の方が高い結果となっている。
○「車内の乗り心地」、「運賃」、「バス停の距離や間隔」については、過半数が満足という結果となっている。
○「他の交通手段との乗り継ぎ」については、不満は 2 割程度であるが、満足している利用者が、1 割にも満たない結果となっている。

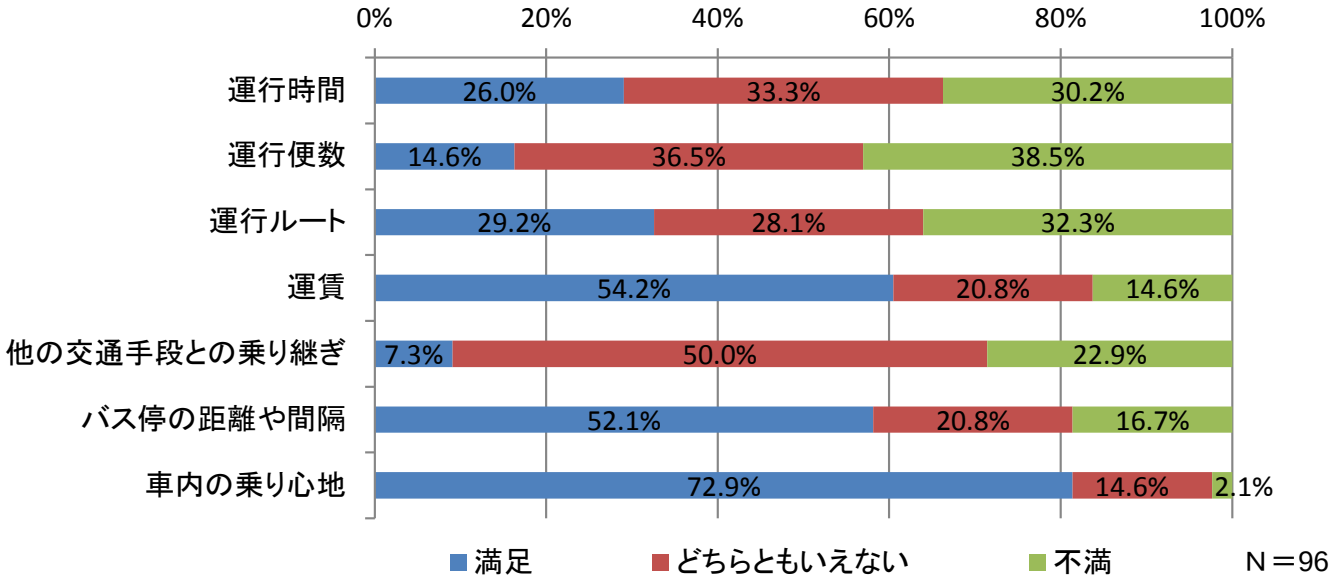


図 20　フレンドリー号の運行サービスの満足度

⑬フレンドリー号の運行に対する要望

○フレンドリー号利用者からの要望としては、「運行便数を増やしてほしい」という意見が５割程度あり、「運行日を増やしてほしい」が４割程度となった。

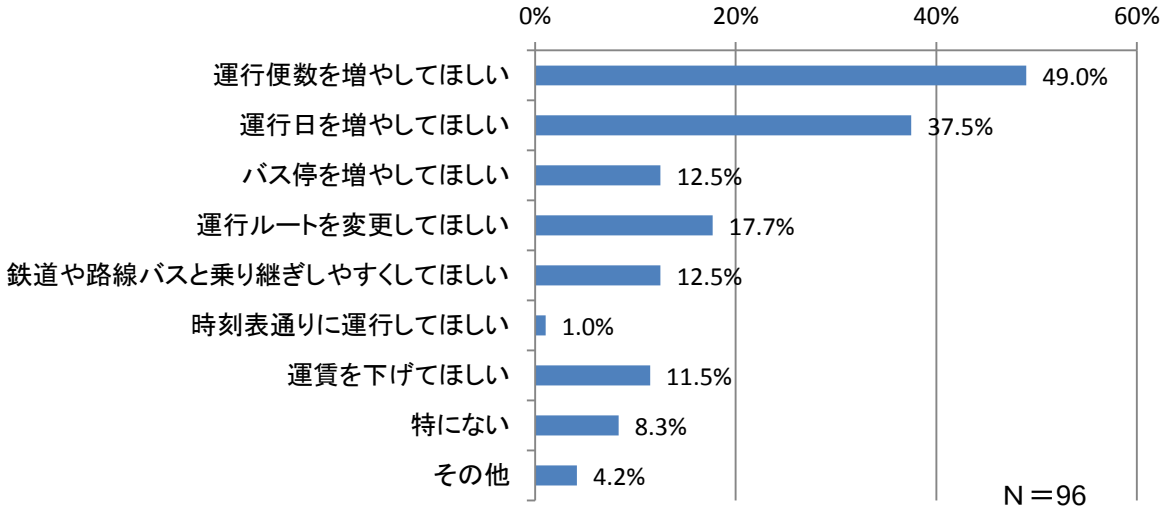


図 21　フレンドリー号の運行に対する要望

⑭フレンドリー号の不便な点、利用しない理由

○全体の約４割が、「他の交通手段があり利用する必要がない」と回答している。

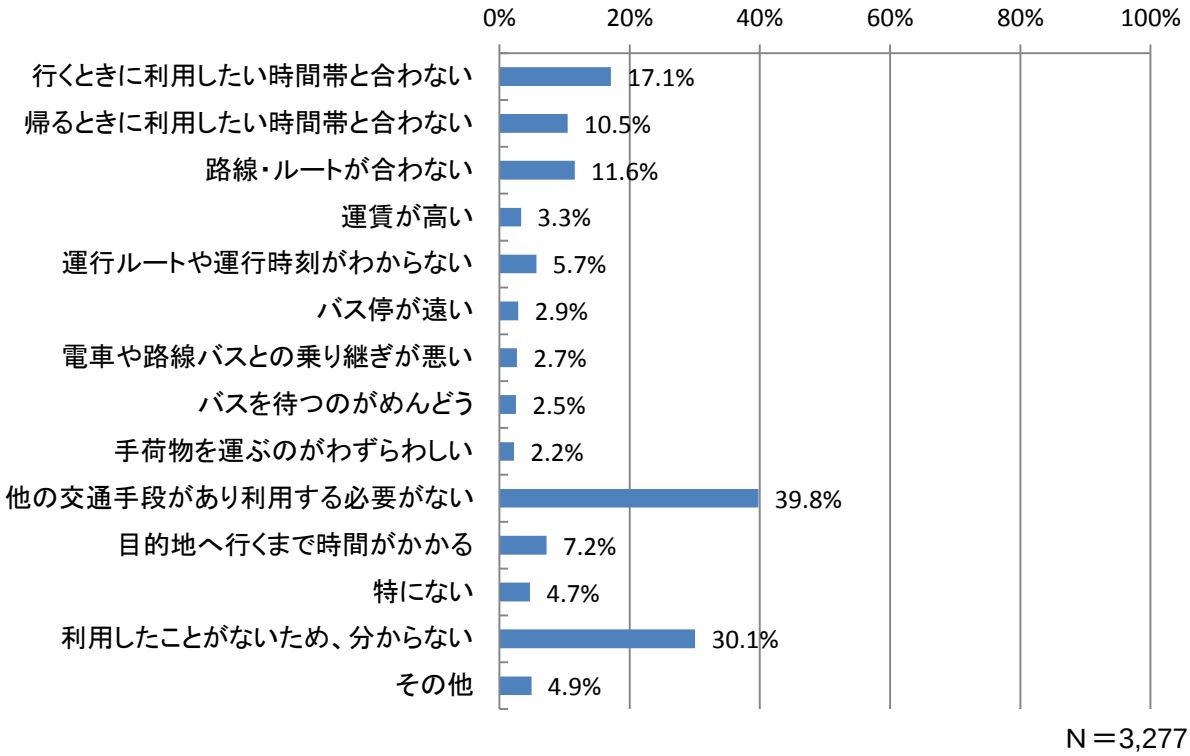


図 22　フレンドリー号の不便な点、利用しない理由

⑮フレンドリー号の財政負担額に対する評価

○フレンドリー号に対する市の財政負担額について、負担が多いという意見が６割以上という結果となった。

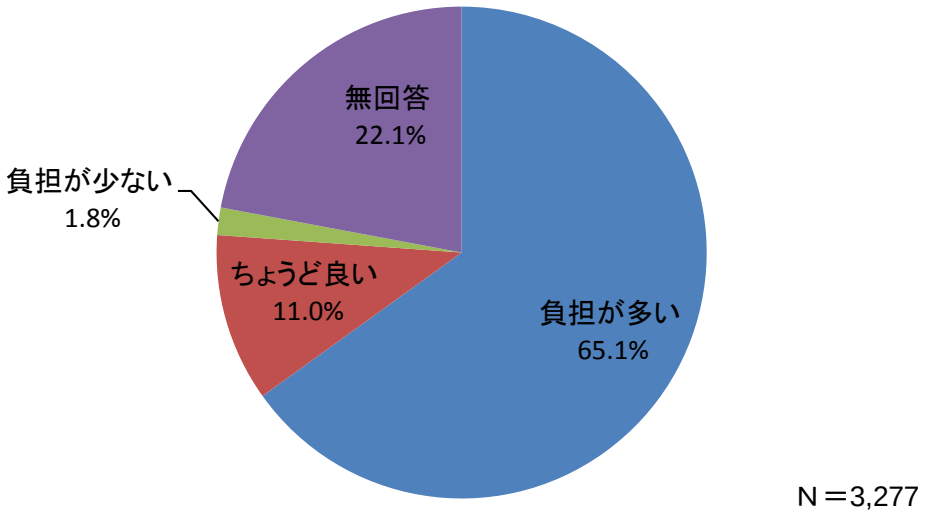


図 23　フレンドリー号の財政負担額に対する評価

⑯フレンドリー号の運行を維持方策

○「地域住民が積極的に利用して維持していくべき」という回答が約 17%と最も多い結果となっている。

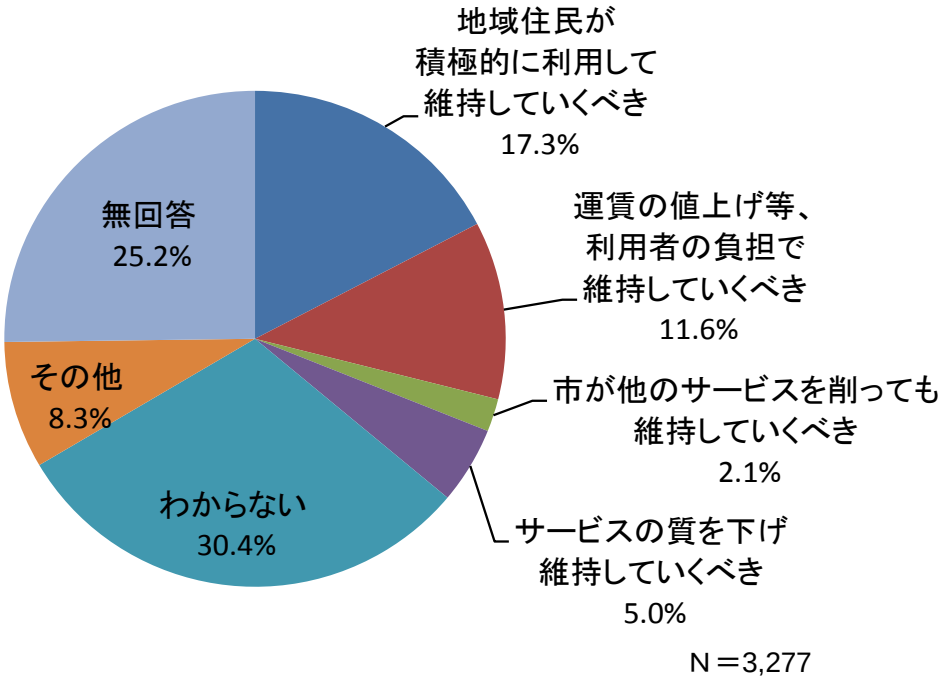


図 24　フレンドリー号の運行を維持していく方法

⑰フレンドリー号の今後の利用意向

○今後も利用しないという意見が４割程度で最も多い結果となり、今後、利用したいという意見は、15%程度という結果となった。

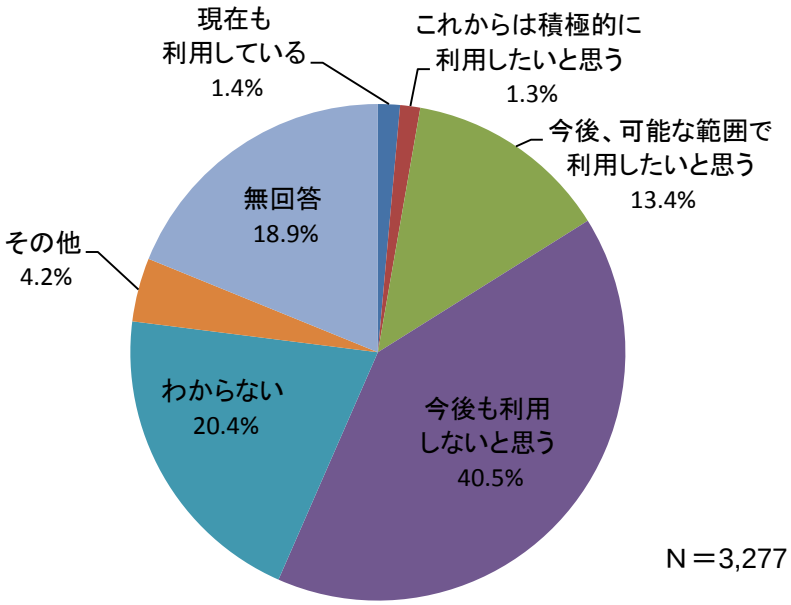


図 25　フレンドリー号の今後の利用意向

3）75 歳以上の回答者に着目した調査結果

「フレンドリー号の利用状況」をみると、利用者の多くは 75 歳以上の住民であることから、75 歳以上の住民の認知度、利用状況、利用しない理由について集計を行った。

①フレンドリー号の認知状況

○75 歳以上でフレンドリー号を知っている人の割合は 82%とほとんどの人が知っている。また、年齢が高いほど、フレンドリー号を知っている傾向にある。

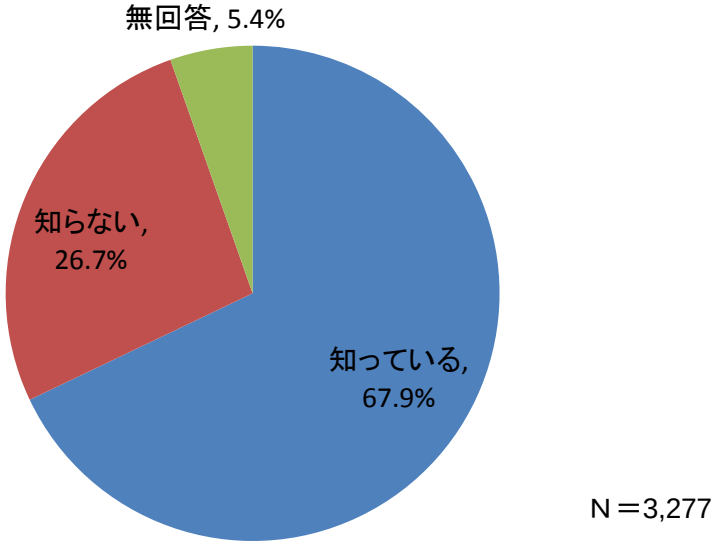


図 26　フレンドリー号の認知状況

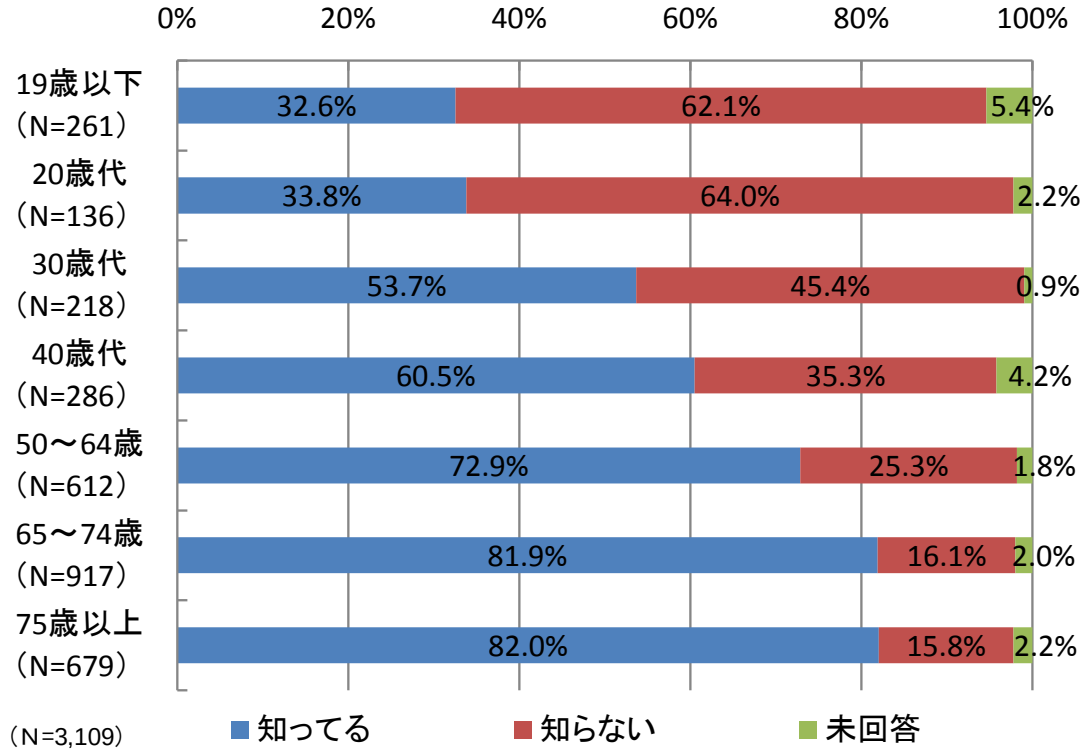


図 27　年齢別のフレンドリー号の認知状況の比較

②フレンドリー号の利用状況

○利用したことがあると答えた回答者の約６割が 75 歳以上の後期高齢者となり、65 歳以上の高齢者で全体の９割程を占めている。
○しかし、75 歳以上の回答者で利用状況を見ると、約９割が利用したことがないと回答しており、フレンドリー号のことを知っておきながら利用していない高齢者が多いということになる。

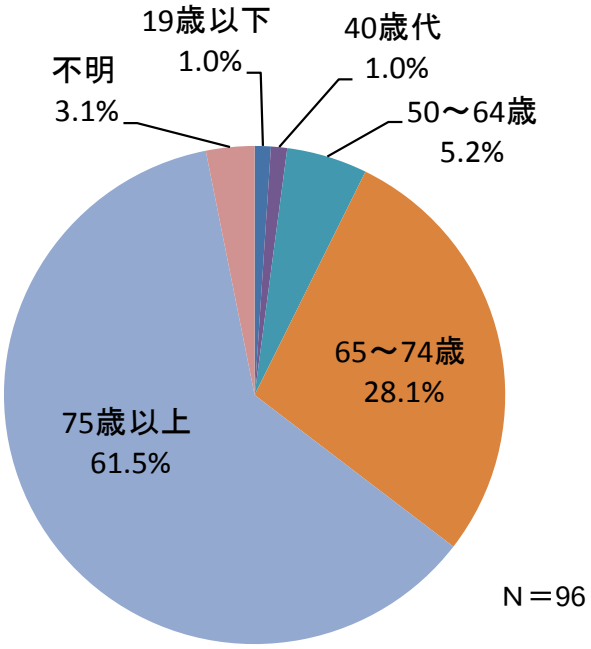


図 28　フレンドリー号利用者の年齢区分

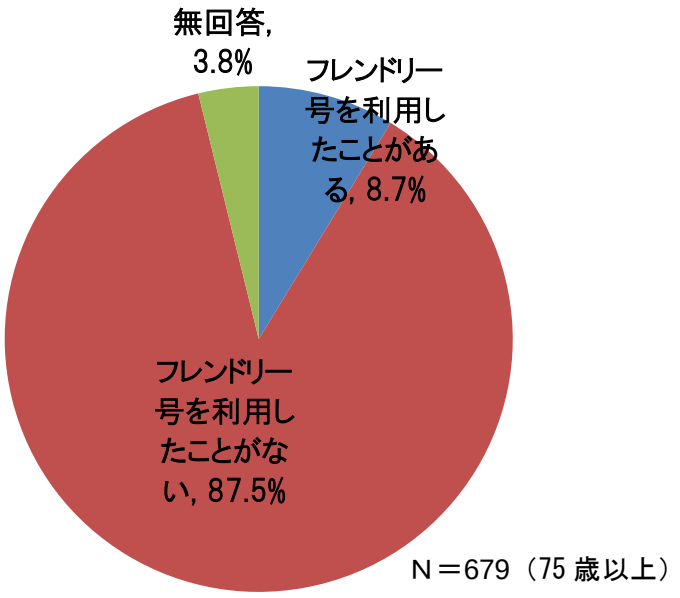


図 29　75 歳以上のフレンドリー号の利用状況

③フレンドリー号の不便な点、利用しない理由

○全体の約 4 割が、「他の交通手段があり利用する必要がない」と回答しているのに対し、75 歳以上になると時間帯やルートのことも理由として割合が高い。

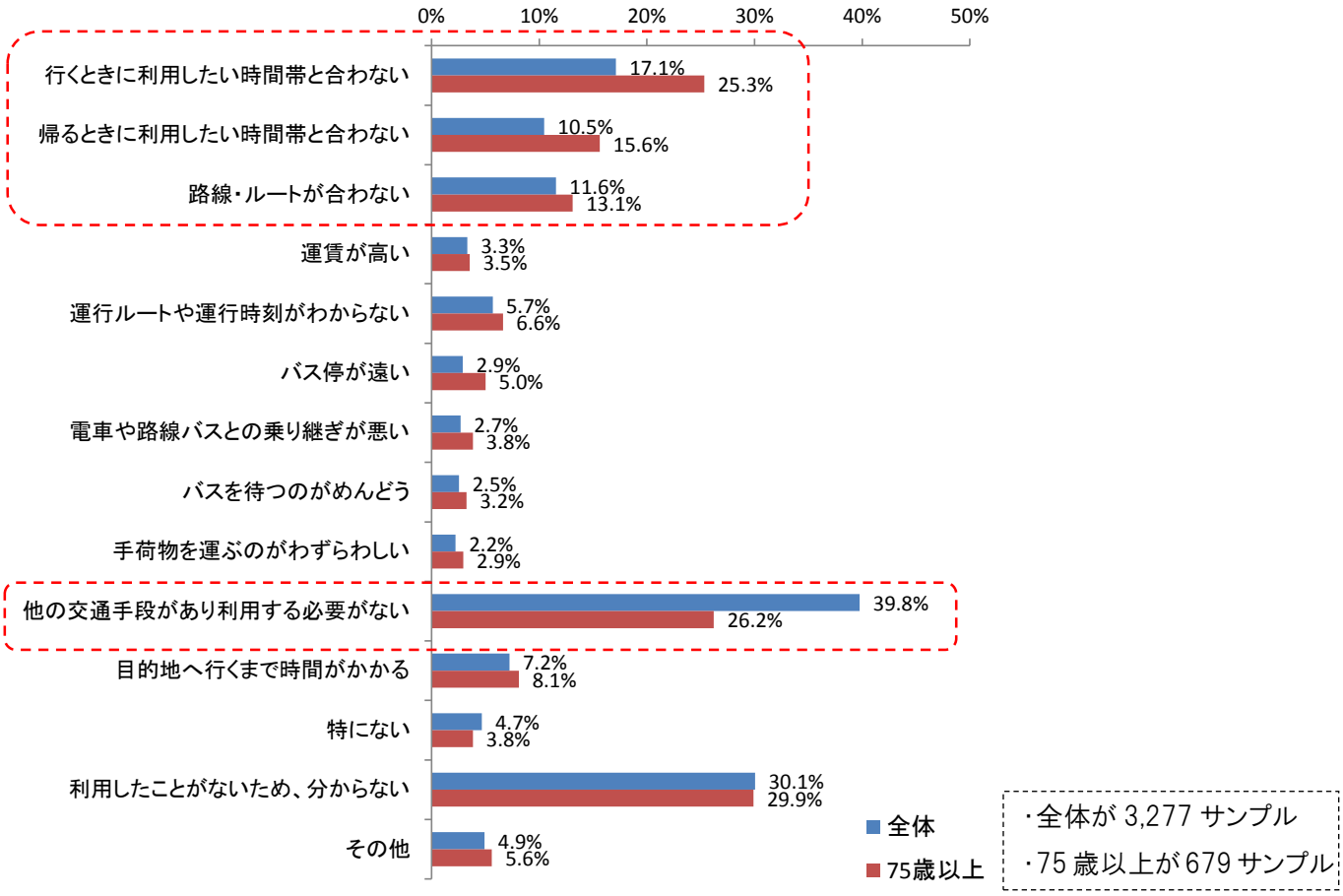


図 30　フレンドリー号の不便な点、利用しない理由

2-2-2 南校区モニタリング

南校区コミュニティバス（フレンドリー号）の運行開始から１年のモニタリングは、先の南校区アンケート調査結果に加えて、中間市が実施した利用者数データを分析によって評価する。

１）既往データの分析

①分析概要

＜分析実施期間＞

H28 年９月（１ヶ月間）

※H28 年９月の運行日

太賀・朝霧系統：５日（月）、７日（水）、12 日（月）、14 日（水）、19 日（月）、21 日（水）、26 日（月）、28 日（水）

通谷・桜台系統：２日（金）、６日（火）、９日（金）、13 日（火）、16 日（金）、20 日（火）、23 日（金）、27 日（火）、30 日（金）

＜分析する項目＞

〇概況

・平成 28 年９月の利用者数

・利用者の属性（大人・障がい者、子供等・幼児）別人数と割合

〇便別の利用者数

〇便別の平均利用者数

〇便別の最少利用者数と最多利用者数

〇便別の空便の割合

〇１日あたりのバス停別平均乗降客数

〇利用者１人あたりの市の財政負担額

＜参考：南校区コミュニティバス（フレンドリー号）路線図・時刻表＞

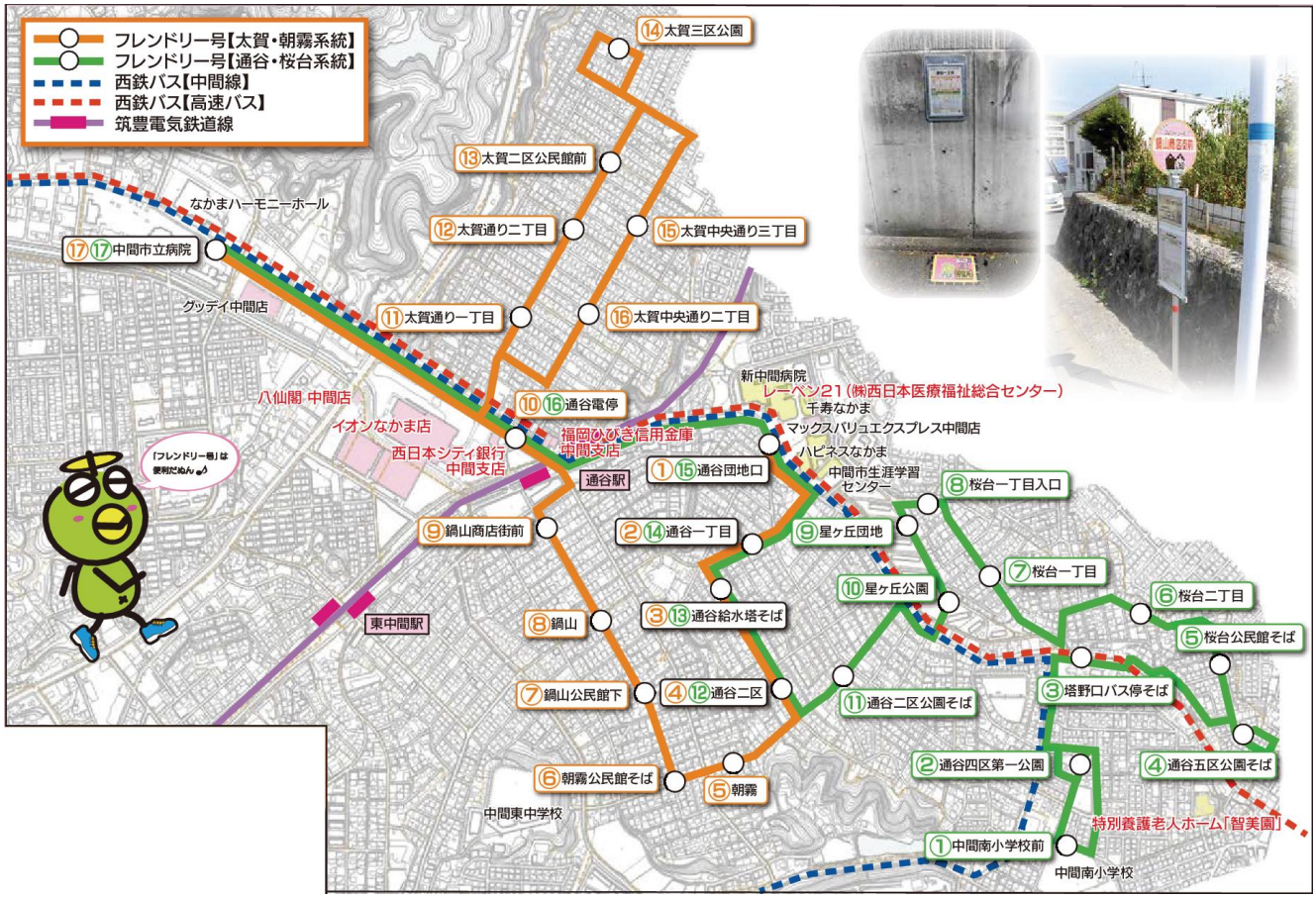


図 31　南校区コミュニティバス（フレンドリー号）路線図

中間市　南校区コミュニティバス「フレンドリー号」運行時刻表

H28年9月発行版

太賀・朝霧系統【運行日：月曜日・水曜日】

往路（行き）

停留所名称	1便	3便	5便	7便
① 通谷団地口	8:25	9:58	13:18	14:57
② 通谷一丁目	8:27	10:00	13:20	14:59
③ 通谷給水塔そば	8:29	10:02	13:22	15:01
④ 通谷二区	8:31	10:04	13:24	15:03
⑤ 朝霧	8:33	10:06	13:26	15:05
⑥ 朝霧公民館そば	8:36	10:09	13:29	15:08
⑦ 鍋山公民館下	8:38	10:11	13:31	15:10
⑧ 鍋山	8:40	10:13	13:33	15:12
⑨ 鍋山商店街前	8:42	10:15	13:35	15:14
⑩ 通谷電停	8:46	10:19	13:39	15:18
⑪ 太賀通り一丁目	8:49	10:22	13:42	15:21
⑫ 太賀通り二丁目	8:51	10:24	13:44	15:23
⑬ 太賀二区公民館前	8:53	10:26	13:46	15:25
⑭ 太賀三区公園	8:55	10:28	13:48	15:27
⑮ 太賀中央通り三丁目	8:58	10:31	13:51	15:30
⑯ 太賀中央通り二丁目	9:00	10:33	13:53	15:32
⑰ 中間市立病院	9:05	10:38	13:58	15:37

※停留所名称（赤色）：西鉄バス（中間線、高速バス）に乗換可能
※停留所名称（青色）：西鉄バス（中間線、高速バス）、筑豊電気鉄道に乗換可能

復路（帰り）

停留所名称	2便	4便	6便	8便
⑰ 中間市立病院	9:12	10:50	14:11	15:48
⑪ 太賀通り一丁目	9:17	10:55	14:16	15:53
⑫ 太賀通り二丁目	9:19	10:57	14:18	15:55
⑬ 太賀二区公民館前	9:22	11:00	14:21	15:58
⑭ 太賀三区公園	9:24	11:02	14:23	16:00
⑮ 太賀中央通り三丁目	9:26	11:04	14:25	16:02
⑯ 太賀中央通り二丁目	9:28	11:06	14:27	16:04
⑩ 通谷電停	9:31	11:09	14:30	16:07
⑨ 鍋山商店街前	9:35	11:13	14:34	16:11
⑧ 鍋山	9:37	11:15	14:36	16:13
⑦ 鍋山公民館下	9:39	11:17	14:38	16:15
⑥ 朝霧公民館そば	9:41	11:19	14:40	16:17
⑤ 朝霧	9:44	11:22	14:43	16:20
④ 通谷二区	9:46	11:24	14:45	16:22
③ 通谷給水塔そば	9:48	11:26	14:47	16:24
② 通谷一丁目	9:50	11:28	14:49	16:26
① 通谷団地口	9:52	11:30	14:51	16:28

通谷・桜台系統【運行日：火曜日・金曜日】

往路（行き）

停留所名称	1便	3便	5便	7便
① 中間南小学校前	8:28	10:03	13:18	15:00
② 通谷四区第一公園	8:30	10:05	13:20	15:02
③ 塔野口バス停そば	8:34	10:09	13:24	15:06
④ 通谷五区公園そば	8:37	10:12	13:27	15:09
⑤ 桜台公民館そば	8:39	10:14	13:29	15:11
⑥ 桜台二丁目	8:41	10:16	13:31	15:13
⑦ 桜台一丁目	8:43	10:18	13:33	15:15
⑧ 桜台一丁目入口	8:45	10:20	13:35	15:17
⑨ 星ヶ丘団地	8:47	10:22	13:37	15:19
⑩ 星ヶ丘公園	8:49	10:24	13:39	15:21
⑪ 通谷二区公園そば	8:52	10:27	13:42	15:24
⑫ 通谷二区	8:54	10:29	13:44	15:26
⑬ 通谷給水塔そば	8:56	10:31	13:46	15:28
⑭ 通谷一丁目	8:58	10:33	13:48	15:30
⑮ 通谷団地口	9:00	10:35	13:50	15:32
⑯ 通谷電停	9:04	10:39	13:54	15:36
⑰ 中間市立病院	9:08	10:43	13:58	15:40

※停留所名称（赤色）：西鉄バス（中間線、高速バス）に乗換可能
※停留所名称（青色）：西鉄バス（中間線、高速バス）、筑豊電気鉄道に乗換可能

復路（帰り）

停留所名称	2便	4便	6便	8便
⑰ 中間市立病院	9:15	10:56	14:12	15:53
⑯ 通谷電停	9:19	11:00	14:16	15:57
⑮ 通谷団地口	9:23	11:04	14:20	16:01
⑭ 通谷一丁目	9:25	11:06	14:22	16:03
⑬ 通谷給水塔そば	9:27	11:08	14:24	16:05
⑫ 通谷二区	9:29	11:10	14:26	16:07
⑪ 通谷二区公園そば	9:31	11:12	14:28	16:09
⑩ 星ヶ丘公園	9:34	11:15	14:31	16:12
⑨ 星ヶ丘団地	9:36	11:17	14:33	16:14
⑧ 桜台一丁目入口	9:38	11:19	14:35	16:16
⑦ 桜台一丁目	9:40	11:21	14:37	16:18
⑥ 桜台二丁目	9:42	11:23	14:39	16:20
⑤ 桜台公民館そば	9:44	11:25	14:41	16:22
④ 通谷五区公園そば	9:46	11:27	14:43	16:24
③ 塔野口バス停そば	9:49	11:30	14:46	16:27
② 通谷四区第一公園	9:53	11:34	14:50	16:31
① 中間南小学校前	9:56	11:37	14:53	16:34

図 32　南校区コミュニティバス（フレンドリー号）時刻表

②太賀・朝霧系統 分析結果

＜概況＞

・H28 年９月の利用者数：78 人（１便あたり 1.2 人）

・利用者の属性（大人・子供等・幼児）別人数と割合

大人　　：71 人（91.0%）
障がい者、子供等　：７人　（9.0%）
幼児　　：０人　（0%）

＜便別の利用者数＞

○便別の利用者数は、「１便（８：25 発）」、「４便（10：50 発）」が 17 人と最も多く、次いで「５便（13：18 発）」、「６便（14：11 発）」が８人であった。

表 ４　便別の利用者数

1便	8:25発	17人
2便	9:12発	7人
3便	9:58発	7人
4便	10:50発	17人
5便	13:18発	8人
6便	14:11発	8人
7便	14:57発	7人
8便	15:48発	7人
計		78人

＜便別の平均利用者数＞

○便別の平均利用者数は、「１便（８：25 発）」、「４便（10：50 発）」が 2.1 人と最も多く、次いで「５便（13：18 発）」、「６便（14：11 発）」が 1.0 人であった。

表 ５　便別の平均利用者数

1便	8:25発	2.1人
2便	9:12発	0.9人
3便	9:58発	0.9人
4便	10:50発	2.1人
5便	13:18発	1.0人
6便	14:11発	1.0人
7便	14:57発	0.9人
8便	15:48発	0.9人

＜便別の最少利用者数と最多利用者数＞

○便別に利用者数をみると、各便とも最少利用者数に０人という記録があり、９月に運行したコミュニティバスのすべての便に誰も利用者がいなかった運行が存在していたことになる。
○最多利用者数は、「１便（８：25 発）」が７人（追走便含む）と最も多く、次いで「４便（10：50 発）」が５人、「２便（９：12 発）」、「８便（15：48 発）」が３人の順であった。

表 ６　便別の最少利用者数と最多利用者数

便番号	出発時刻	最少利用者数（人）	最多利用者数（人）
1便	8:25発	0	7
2便	9:12発	0	3
3便	9:58発	0	2
4便	10:50発	0	5
5便	13:18発	0	2
6便	14:11発	0	2
7便	14:57発	0	2
8便	15:48発	0	3

＜便別の空便の割合＞

○便別の空便が発生した割合は、「２便（９：12 発）」が 50%と最も多く、次いで「８便（15：48 発）」が 37.5%であった。

表 ７　便別の空便の割合

便番号	出発時刻	空便の回数（回）	９月の運行回数（回）	空便の割合（%）
1便	8:25発	2	8	25.0%
2便	9:12発	4	8	50.0%
3便	9:58発	2	8	25.0%
4便	10:50発	2	8	25.0%
5便	13:18発	1	8	12.5%
6便	14:11発	2	8	25.0%
7便	14:57発	2	8	25.0%
8便	15:48発	3	8	37.5%

＜１日あたりの停留所別平均乗降客数＞

〇乗車は「通谷電停」が 3.8 人と最も多く、次いで「朝霧公民館そば」（1.1 人）、「太賀三区公園」（0.8 人）の順であった。
〇降車は「中間市立病院」が 2.3 人と最も多く、次いで「通谷電停」（1.8 人）、「通谷二区」（1.3 人）の順であった。

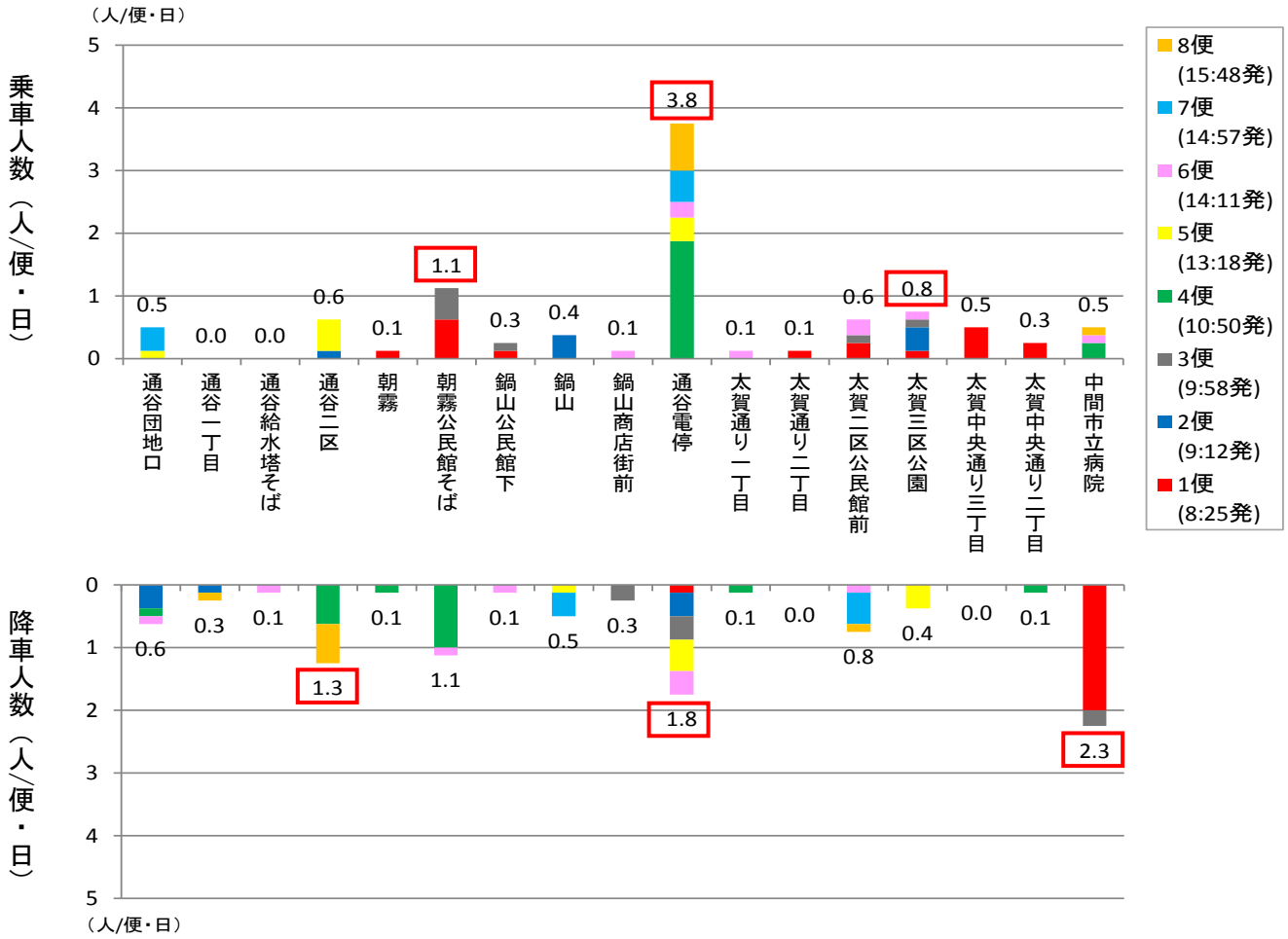


図 33　１日あたりのバス停別平均乗降客数

＜利用者１人あたりの市の財政負担額＞

〇利用者１人あたりの市の財政負担額は、
（市補てん額）79,820 円÷（利用者数）78 人＝約 1,023 円
となっている。

表 8　太賀・朝霧系統の運行経費と利用者数（平成 28 年９月）

	運行便数（便）	利用総数（人）	運行経費（円）	運賃収入（円）	市の補てん額（円）	運行1便あたりの平均利用者数（人/便）	利用者一人あたりの市の財政負担（円/人）
太賀・朝霧系統	64	78	94,720	14,900	79,820	1.22	1,023

③通谷・桜台系統

＜概況＞

・H28 年９月の利用者数：88 人（１便あたり 1.2 人）

・利用者の属性（大人・子供等・幼児）別人数と割合

大人	：79 人	（89.8%）
障がい者、子供等	：９人	（10.2%）
幼児	：０人	（0%）

＜便別の利用者数＞

〇便別の利用者数は、「４便（10：56 発）」が 19 人と最も多く、次いで「８便（15：53 発）」が 17 人、「３便（10：03 発）」が 16 人の順であった。

1便	8:28発	13人
2便	9:15発	1人
3便	10:03発	16人
4便	10:56発	19人
5便	13:18発	13人
6便	14:12発	8人
7便	15:00発	1人
8便	15:53発	17人
計		88人

図 34　便別の利用者数

＜便別の平均利用者数＞

〇便別の平均利用者数は、「４便（10：56 発）」が 2.4 人と最も多く、次いで「８便（15：53 発）」が 2.1 人、「３便（10：03 発）」が 2.0 人の順であった。

1便	8:28発	1.6人
2便	9:15発	0.1人
3便	10:03発	2.0人
4便	10:56発	2.4人
5便	13:18発	1.6人
6便	14:12発	1.0人
7便	15:00発	0.1人
8便	15:53発	2.1人

図 35　便別の平均利用者数

＜便別の最少利用者数と最多利用者数＞

○便別の最少利用者数は、「4便（10：56 発）」、「5便（13：18 発）」が1人で、その他の便は0人があり、利用者がいなかった運行が存在していたことになる。
○最多利用者数は、「1便（8：28 発）」、「4便（10：56 発）」が4人と最も多く、次いで「3便（10：03 発）」、「6便（14：12 発）」、「8便（15：53 発）」が3人であった。

表 9　便別の最少利用者数と最多利用者数

便番号	出発時刻	最少利用者数（人）	最多利用者数（人）
1便	8:28発	0	4
2便	9:15発	0	1
3便	10:03発	0	3
4便	10:56発	1	4
5便	13:18発	1	2
6便	14:12発	0	3
7便	15:00発	0	1
8便	15:53発	0	3

＜便別の空便の割合＞

○便別の空便の割合は、「2便（9：15 発）」、「7便（15：00 発）」が、88.9%と最も多く、次いで「6便（14：12 発）」が 55.6%であった。
○「4便（10：56 発）」、「5便（13：18 発）」は、空便はなかった。

表 10　便別の空便の割合

便番号	出発時刻	空便の回数（回）	9月の運行回数（回）	空便の割合（%）
1便	8:28発	3	9	33.3%
2便	9:15発	8	9	88.9%
3便	10:03発	2	9	22.2%
4便	10:56発	0	9	0.0%
5便	13:18発	0	9	0.0%
6便	14:12発	5	9	55.6%
7便	15:00発	8	9	88.9%
8便	15:53発	1	9	11.1%

＜１日あたりのバス停別平均乗降客数＞

○乗車は「通谷電停」が 4.6 人と最も多く、次いで「通谷二区」（2.0 人）、「通谷給水塔そば」（1.3 人）の順であった。
○降車は「通谷電停」が 2.9 人と最も多く、次いで「中間市立病院」（2.3 人）、「通谷二区」（2.0 人）の順であった。

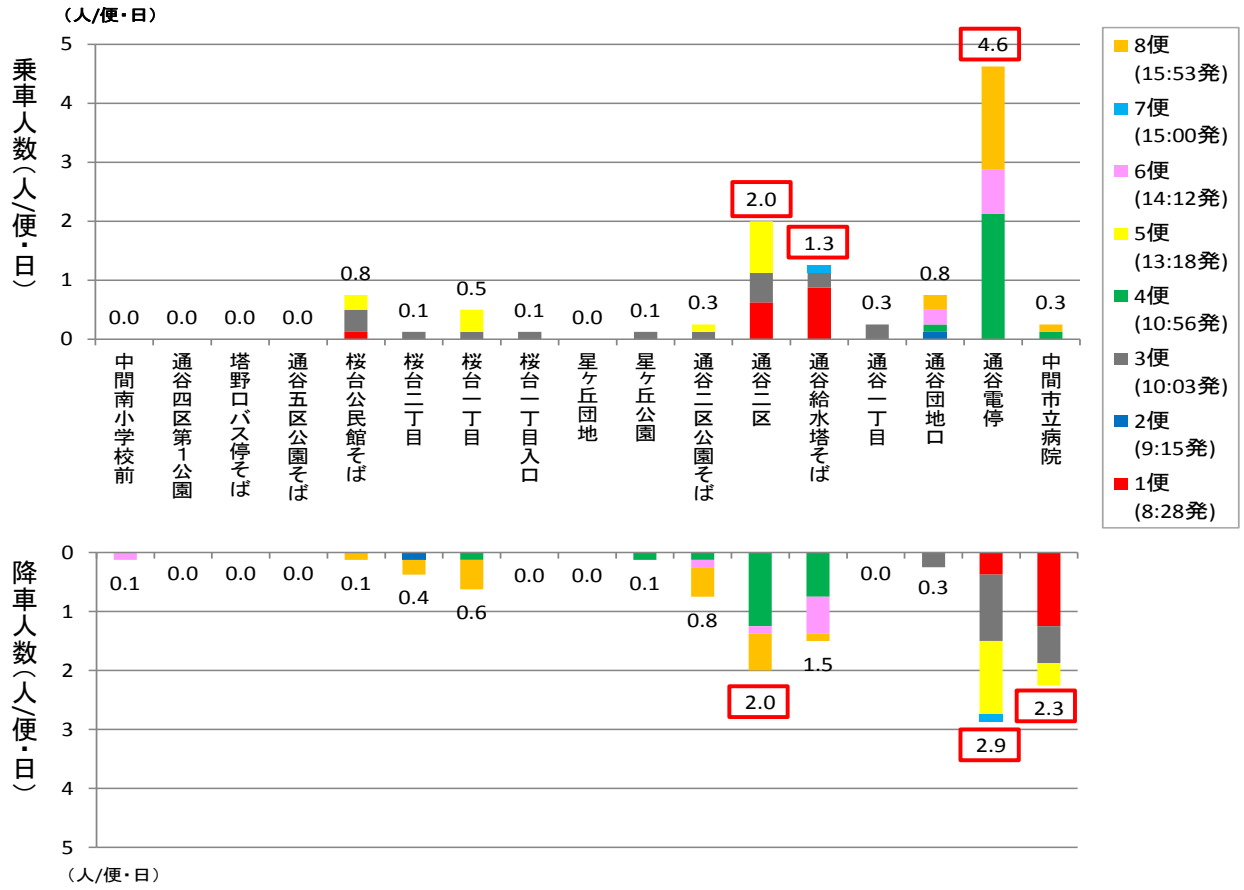


図 36　１日あたりのバス停別平均乗降客数

＜利用者１人あたりの市の財政負担額＞

○利用者１人あたりの市の財政負担額は、
（市補填額）96,691 円÷（利用者数）88 人＝約 1,099 円
となっている。

表 11　通谷・桜台系統の運行経費と利用者数（平成 28 年９月）

	運行便数（便）	利用総数（人）	運行経費（円）	運賃収入（円）	市の補てん額（円）	運行1便あたりの平均利用者数（人/便）	利用者一人あたりの市の財政負担（円/人）
通谷・桜台系統	72	88	113,391	16,700	96,691	1.22	1,099

④南校区コミュニティバスの運行に関する効果検証

＜コミュニティバスの１便あたりの利用者数＞

○運行 1 年間を通しての 1 便あたりの平均利用者数は、1.02 人/便となり、中間市地域公共交通網形成計画時点における現状値（0.91 人/便）よりは、目標値に近いが、目標値の２人/便には、達していない結果となる。

＜コミュニティバス利用者１人への市の負担金額＞

○運行 1 年間を通しての利用者 1 人への市の負担金額は、1,308 円/人となり、中間市地域公共交通網形成計画時点における現状値（1,495 円/人）よりは、目標値に近いが、目標値の 569 円/人には、達していない結果となる。

表 12　南校区コミュニティバスの運行経費と利用者数

	運行便数（便）	利用総数（人）	運行経費（円）	運賃収入（円）	市の補てん額（円）	運行1便あたりの平均利用者数（人/便）	利用者一人あたりの市の財政負担（円/人）
太賀・朝霧系統	808	879	1,185,215	160,900	1,024,315	1.09	1,165
通谷・桜台系統	816	778	1,292,098	148,400	1,143,698	0.95	1,470
全体	1,624	1,657	2,477,313	309,300	2,168,013	1.02	1,308

※データは、H27.10～H28.9 の期間を集計

2）中間南校区モニタリング

①目的

中間市の丘陵地にある住宅地では、宅地とＪＲの駅や筑豊電鉄の電停、及び路線バスのバス停との高低差が大きいため、高齢者の日常生活移動における公共交通利用が困難な状況に対して、坂道移動を支援する公共交通が必要である。

その先駆けとして平成 27 年 10 月に導入した中間南校区の「フレンドリー号」を以下の４指標で評価することで、高低差が大きい住宅地に住む高齢者のアクセス支援交通の役割及び効果について検証を行う。

②目標年次

平成 32 年度

③モニタリング評価時（現況値）

平成 26 年度（指標③、④）
平成 27 年度（指標①、②）

④モニタリング評価時の評価結果

モニタリング指標	現況値	評価値（H28）	目標値（H32）	評価概要
①コミュニティバス 1 便当たりの利用者数	0．91人/便（H27）	1．02人/便	2．0人/便	評価値が１人を超えたことから、複数利用である公共交通の利用状況となった。目標に対しては、今後も利用者の増加に取組む必要がある。
②コミュニティバス利用者 1 人への市の負担額	1，495円/人（H27）	1，308円/人	569円/人	①の評価値が改善されたことで市の負担金額が低減された。目標に対しては、今後も利用者の増加に取組む必要がある。
③中間南校区地区住民（65 歳以上）のお出かけ回数の増加	3．3回/週（H26）	3．6回/週	3．4回/週	評価値が向上し、目標値を達成した状況にある。 目標年次まで継続して評価値を維持していくことが望まれる。
④公共交通利用割合の増加	20%（H26）	6．4%	22%	現況値に対して評価値が大幅に減少している。③指標の65歳以上の住民のお出かけ回数は改善しているのに対し、評価値が大幅に下がっているのは、自家用車による移動が多くなっているためである。

⑤課題

- 下図に示すグラフは、65 歳以上の回答者の日常生活移動における移動手段の割合である。
- 自家用車の割合が高くなっており、一方で公共交通の利用が減っている。
- モニタリング結果から、限られた住民が頻繁にフレンドリー号を利用していることが想定され、そのため、利用者数が増加しているにもかかわらず、公共交通を移動手段としている割合が減っている可能性がある。ただし、詳細についてはアンケートだけで判断することは難しく、住民がフレンドリー号に普段感じている状況や利用に対する考えなどを直に把握していくことが必要である。

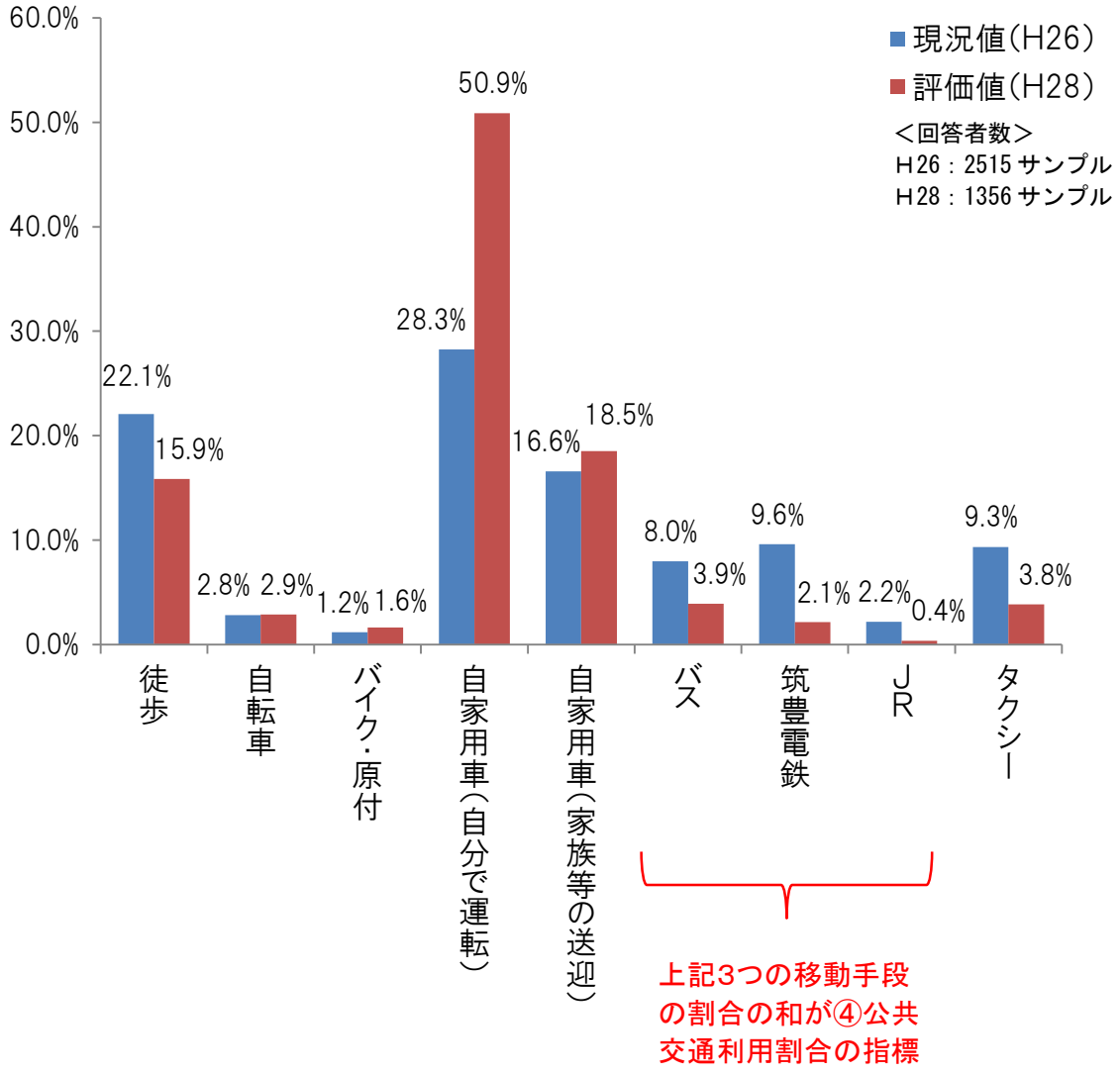


図 37　65 歳以上の回答者の移動手段の割合

- 次年度は、中間南校区において座談会を開催し、同校区の住民、特に高齢者からフレンドリー号に対する意識などを確認し、改善していくことで、フレンドリー号の利用促進を図り、モニタリング評価の目標へ近づけていく必要がある。

2-3　中間市地域公共交通まちづくりの目標に対する評価指標

中間市では、底井野校区のコミュニティバスとして平成２８年１０月３日より「なかよし号」が運行開始している。

そのため、「中間市地域公共交通網形成計画」の目標である「公共交通不便地 A の割合」が改善されている。

さらに、「路線バス利用者数」の目標についても、平成２７年１０月から平成２８年９月の１年間の利用者数が公表されている。

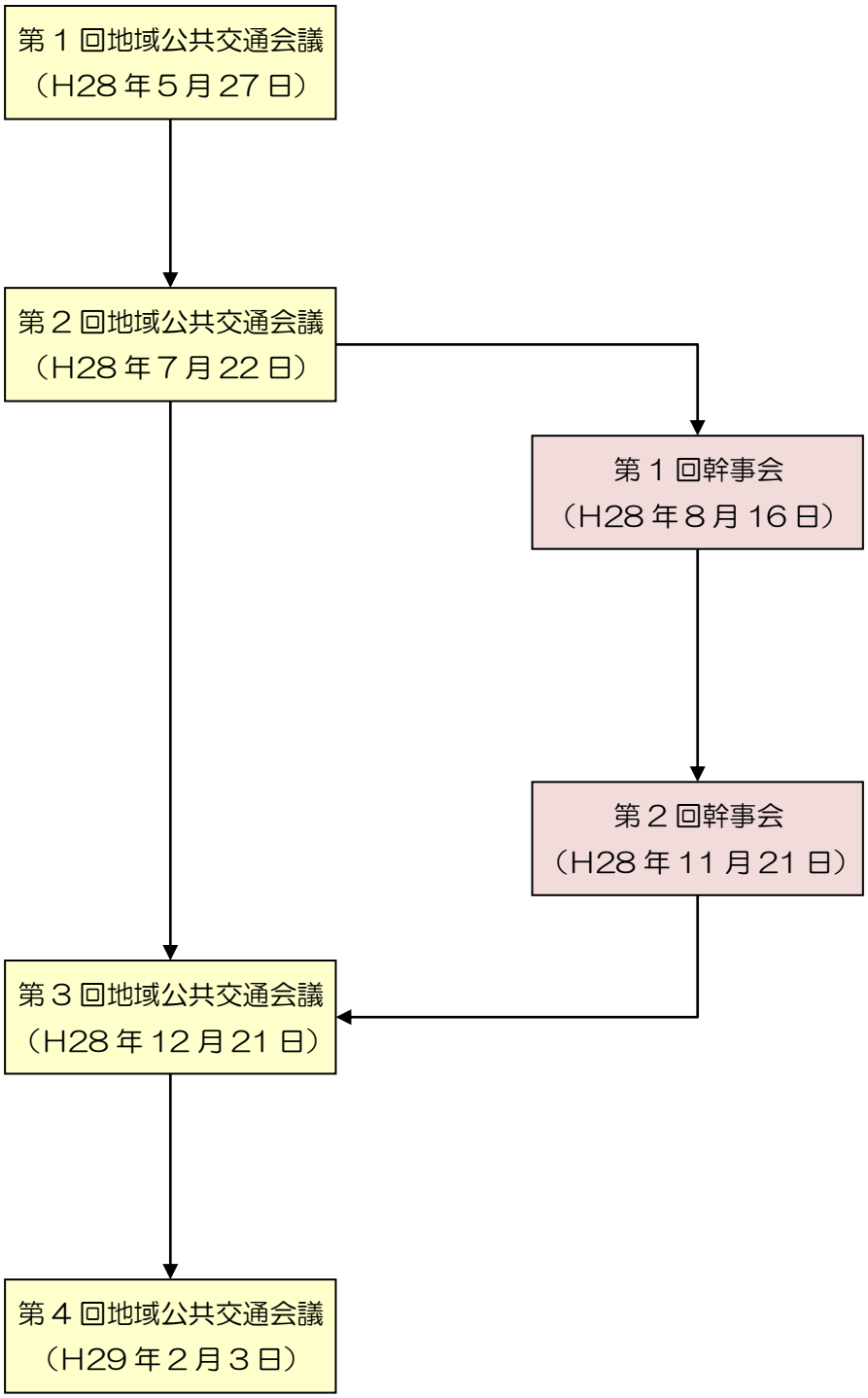
以上のことを受けて、ここでは「中間市地域公共交通網形成計画」の目標に対する平成２８年度の評価指標を下表に取りまとめた。

▼中間市地域公共交通まちづくりの目標に対する平成２８年度評価指標

	数値指標	単位	現況値	評価値（H28 年度）	目標値（H32 年度）
評価指標①	公共交通不便地 A の割合	%	32.4（H26）	**10.3**	12.9
評価指標②	公共交通不便地 B に対する公共交通サービスの確立				
	①コミュニティバスの１便あたりの利用者数	人/便	0.91（H27）	**1.02**	2.0
	②コミュニティバス利用者１人への市の負担金額	円/人	1,495（H27）	**1,308**	569
	③中間南校区地区住民（６５歳以上）のお出かけ回数の増加	回/週	3.3（H26）	**3.6**	3.4
	④公共交通利用割合の増加	%	20（H26）	**6.4**	22
評価指標③	過去１年間における公共交通の乗り継ぎ利用をしていない割合	%	65.3（H27）	-	60.0
評価指標④	底井野校区地区住民（６５歳以上）のお出かけ回数の増加	回/週	2.6（H27）	-	2.8
評価指標⑤	路線バスの利用者数	人/日	500（H26）	**450** (H27.10~H28.9)	500

2-4 中間市地域公共交通会議の運営支援

2-4-1 地域公共交通会議の流れ



2-4-2 会議での決定事項等

1）地域公共交通会議

	内容
第１回地域公共交通会議 （H28 年５月 27 日）	・中間市地域公共交通会議平成 27 年度決算、及び 28 年度予算案の報告、承認 ・中間市地域内フィーダー系統確保維持計画案の説明、承認 ・中間市地域公共交通網形成計画推進事業委託事業者選定に関するプロポーザル審査員会設置要領案の説明、承認
第２回地域公共交通会議 （H28 年７月 22 日）	・底井野校区予約型タクシー事業の実施に向けた進捗報告 ・中間市地域公共交通網形成計画推進事業に関するプロポーザル審査委員会の報告、及び今後の取組み内容、実施スケジュール等の説明 ・南校区コミュニティバス（フレンドリー号）停留所（通谷一丁目）の移設に関する説明 ・幹事会において、南校区アンケート調査票案の検討、及び公共交通マップ等の素案の検討を行うことに対する同意 ・学識経験者である内田委員のアドバイザーとしての幹事会への参加の同意
第３回地域公共交通会議 （H28 年 12 月 21 日）	・委員交代の報告（福岡県交通運輸産業労働組合協議会の渕上氏が執行委員長を退任したことに伴い、木原委員が新たに就任） ・南校区コミュニティバス（フレンドリー号）の運行実績、及び利用実態に関するアンケート調査結果の報告 ・公共交通マップ案の説明 ・中間市地域内フィーダー系統確保維持計画、中間市地域公共交通網形成計画推進事業の事業評価の説明、及び福岡運輸支局へ提出の承認 ・底井野校区コミュニティバス（なかよし号）の運行状況の報告
第４回地域公共交通会議 （H29 年２月３日）	・中間市地域公共交通網形成計画推進事業の取り組み ①南校区コミュニティバスモニタリング調査結果報告 ②公共交通マップ修正案の説明 ・平成 30 年 中間市フィーダー系統確保維持計画案の説明

2）幹事会

	内容
第１回幹事会 （H28 年８月 16 日）	・南校区コミュニティバス（フレンドリー号）の利用実態に関するアンケート調査の実施方法、及び調査票案の説明 ・公共交通マップの掲載内容案等の説明 ・南校区コミュニティバス（フレンドリー号）、底井野校区コミュニティバス（なかよし号）の運行マップ案の説明
第２回幹事会 （H28 年 11 月 21 日）	・南校区コミュニティバス（フレンドリー号）の運行実績、及び利用実態に関するアンケート調査結果の報告 ・公共交通マップ案の説明 ・底井野校区コミュニティバス（なかよし号）の運行状況の報告